

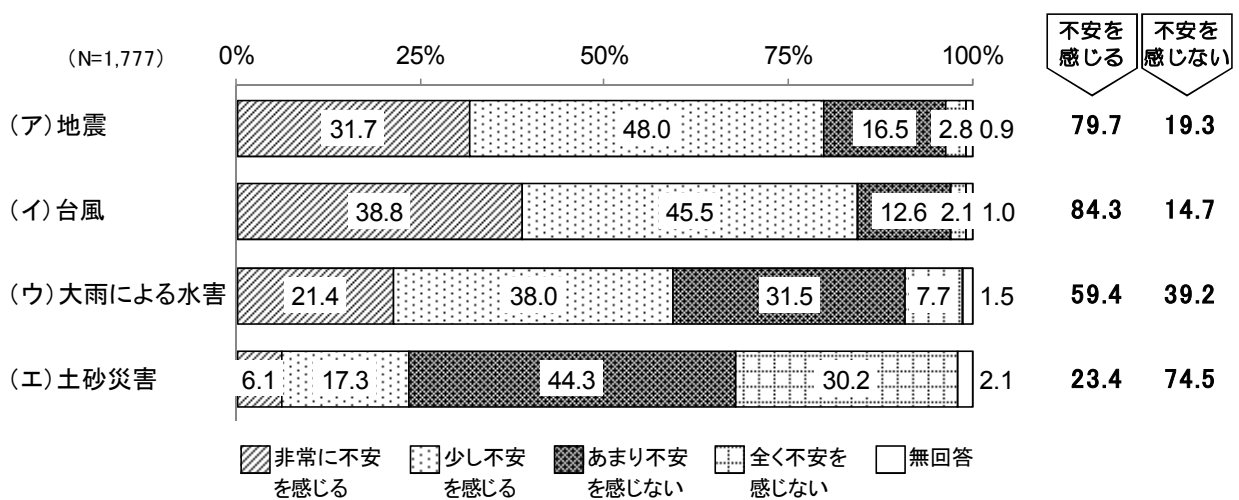
第2章 安全・安心のまちづくり

2-1 防災

(1) 災害への不安

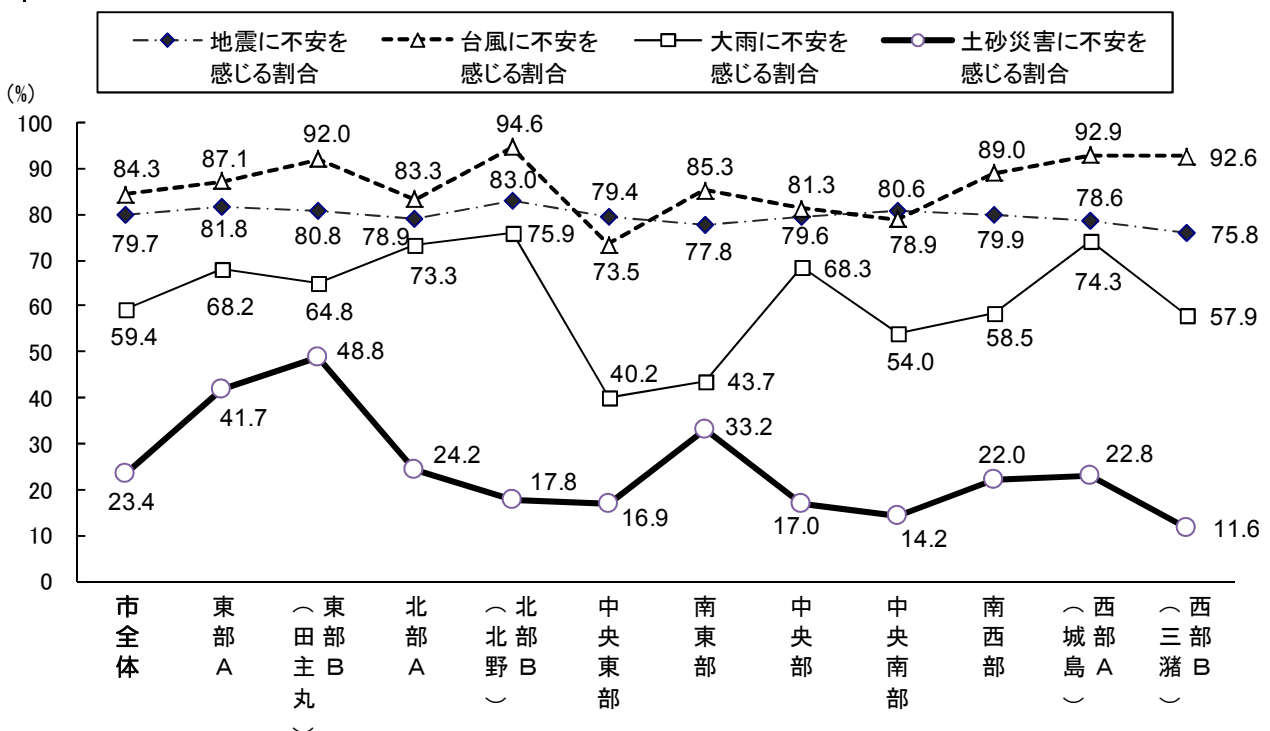
「台風」と「地震」への不安を感じる人が8割前後。
 「地震」への不安を感じる割合に地域差は見られないが、他の災害への不安は地域差が大きい。
 「大雨による水害」への不安は北部、「土砂災害」への不安は東部で特に強くなっている。

問3 あなたは、お住まいの地域で、次のような災害にあうかもしれないという不安を感じますか。
 (あてはまる番号にそれぞれ1つずつ〇印)



■図2-1 ブロック別にみた災害への不安を感じる割合

◇「大雨に不安を感じる割合」は北部、西部Aで高く、中央東部、南東部で低い。



◆属性別特徴

【性別】いずれの項目も男性より女性の方が不安を感じる割合が強い。

【年齢別】

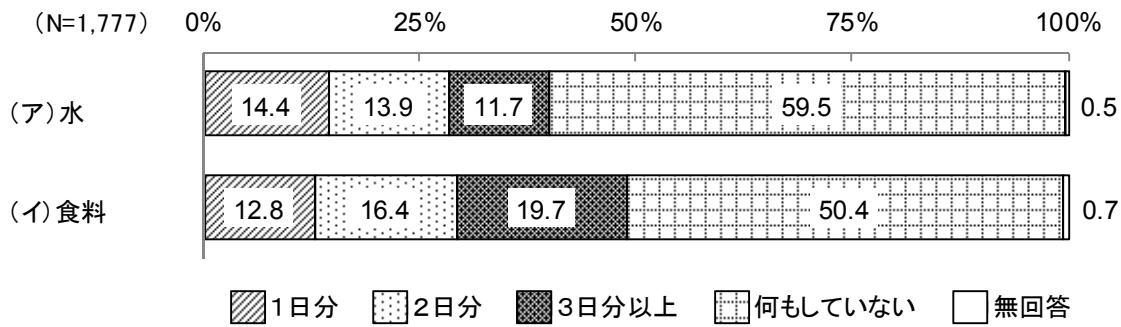
- ・地震への災害に不安を感じる割合は、年齢別では特に差は見られない。
- ・台風に「非常に不安を感じる」割合は年齢が高くなるにつれて上昇しており、70歳以上で48.7%に達する。
- ・大雨による水害に不安を感じる割合は30歳代、40歳代で特に高く、6割を超えている。
- ・土砂災害への不安を感じる割合は、20歳代、30歳代でやや高い。

	標本数 (票)	(ア)地震 (%)					(イ)台風 (%)				
		を非 常に 不安 を	感少 じし る不 安を	をあ まじ りな い安	感全 じく ない 不安	無 回 答	を非 常に 不安 を	感少 じし る不 安を	をあ まじ りな い安	感全 じく ない 不安	無 回 答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,777)	31.7 (564)	48.0 (853)	16.5 (294)	2.8 (50)	0.9 (16)	38.8 (690)	45.5 (808)	12.6 (224)	2.1 (38)	1.0 (17)
性別											
男性	826	25.5	47.3	21.5	4.7	0.8	36.1	46.2	13.4	3.3	1.0
女性	951	37.1	48.6	12.2	1.2	0.9	41.2	44.8	11.9	1.2	0.9
年齢別											
20歳代	215	35.8	43.3	15.8	4.2	0.9	24.2	50.7	19.1	4.7	1.4
30歳代	292	31.5	47.9	17.8	2.4	0.3	32.9	48.6	15.1	2.4	1.0
40歳代	319	31.7	50.8	14.1	2.2	1.3	35.7	51.7	11.3	0.9	0.3
50歳代	357	29.1	50.1	16.8	3.4	0.6	40.1	43.4	13.4	2.5	0.6
60歳代	403	30.8	47.4	19.6	1.5	0.7	47.6	40.9	9.4	1.5	0.5
70歳以上	191	34.6	46.1	12.6	4.7	2.1	48.7	37.7	8.9	1.6	3.1
ブロック別											
東部A	132	33.3	48.5	13.6	3.8	0.8	49.2	37.9	9.1	3.0	0.8
東部B(田主丸)	125	34.4	46.4	13.6	4.8	0.8	50.4	41.6	4.8	2.4	0.8
北部A	161	35.4	43.5	18.0	1.2	1.9	31.7	51.6	13.0	3.1	0.6
北部B(北野)	112	34.8	48.2	14.3	0.9	1.8	59.8	34.8	3.6	0.9	0.9
中央東部	219	26.9	52.5	19.2	0.9	0.5	25.1	48.4	23.3	1.4	1.8
南東部	190	28.9	48.9	16.8	4.2	1.1	35.3	50.0	11.1	3.2	0.5
中央部	230	30.0	49.6	17.4	3.0	-	30.0	51.3	15.7	2.2	0.9
中央南部	289	32.2	48.4	14.2	4.8	0.3	35.3	43.6	18.0	2.8	0.3
南西部	154	33.1	46.8	16.9	1.9	1.3	44.8	44.2	7.8	1.3	1.9
西部A(城島)	70	40.0	38.6	18.6	-	2.9	54.3	38.6	5.7	-	1.4
西部B(三瀧)	95	27.4	48.4	21.1	2.1	1.1	46.3	46.3	5.3	1.1	1.1
	標本数 (票)	(ウ)大雨による水害 (%)					(エ)土砂災害 (%)				
		を非 常に 不安 を	感少 じし る不 安を	をあ まじ りな い安	感全 じく ない 不安	無 回 答	を非 常に 不安 を	感少 じし る不 安を	をあ まじ りな い安	感全 じく ない 不安	無 回 答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,777)	21.4 (380)	38.0 (675)	31.5 (560)	7.7 (136)	1.5 (26)	6.1 (108)	17.3 (308)	44.3 (787)	30.2 (537)	2.1 (37)
性別											
男性	826	18.5	37.2	33.8	9.2	1.3	4.1	15.6	45.0	33.2	2.1
女性	951	23.9	38.7	29.5	6.3	1.6	7.8	18.8	43.6	27.7	2.1
年齢別											
20歳代	215	21.4	36.3	33.0	7.9	1.4	7.4	20.5	43.3	27.0	1.9
30歳代	292	24.0	44.9	26.4	4.1	0.7	7.5	19.5	47.6	24.7	0.7
40歳代	319	21.3	44.8	28.5	4.7	0.6	4.1	19.1	47.6	27.0	2.2
50歳代	357	20.2	34.2	36.4	7.8	1.4	5.3	15.1	45.1	32.8	1.7
60歳代	403	20.3	33.5	34.0	10.9	1.2	6.5	15.9	42.4	34.0	1.2
70歳以上	191	22.0	34.6	28.3	10.5	4.7	6.3	14.7	37.2	35.1	6.8
ブロック別											
東部A	132	25.0	43.2	25.0	6.8	-	7.6	34.1	35.6	21.2	1.5
東部B(田主丸)	125	26.4	38.4	27.2	7.2	0.8	19.2	29.6	32.8	17.6	0.8
北部A	161	26.7	46.6	22.4	3.1	1.2	6.2	18.0	50.3	23.0	2.5
北部B(北野)	112	33.9	42.0	18.8	3.6	1.8	7.1	10.7	46.4	32.1	3.6
中央東部	219	11.4	28.8	45.7	11.4	2.7	1.8	15.1	46.1	34.7	2.3
南東部	190	15.8	27.9	41.6	12.6	2.1	11.6	21.6	44.2	21.1	1.6
中央部	230	27.4	40.9	25.2	4.8	1.7	2.2	14.8	50.0	31.3	1.7
中央南部	289	15.6	38.4	37.0	8.7	0.3	3.8	10.4	44.3	39.8	1.7
南西部	154	16.9	41.6	31.2	8.4	1.9	4.5	17.5	40.9	35.1	1.9
西部A(城島)	70	41.4	32.9	21.4	1.4	2.9	7.1	15.7	51.4	21.4	4.3
西部B(三瀧)	95	15.8	42.1	30.5	10.5	1.1	2.1	9.5	41.1	44.2	3.2

(2) 家庭における災害への備え

3日以上の備蓄をしている人は「水」11.7%、「食料」19.7%。「何もしていない人」が半数以上。「水」、「食料」ともに、3日分以上備蓄している割合は年齢が上がるほど上昇している。

問4 地震などの災害時に電気・水道・ガスなどがストップした場合に備えて、あなたのご家庭では水や食料をどの程度備蓄していますか。(あてはまる番号にそれぞれ1つずつ〇印)



◆属性別特徴

【性別】、【ブロック別】「水」、「食料」ともに、回答傾向に差は見られない。

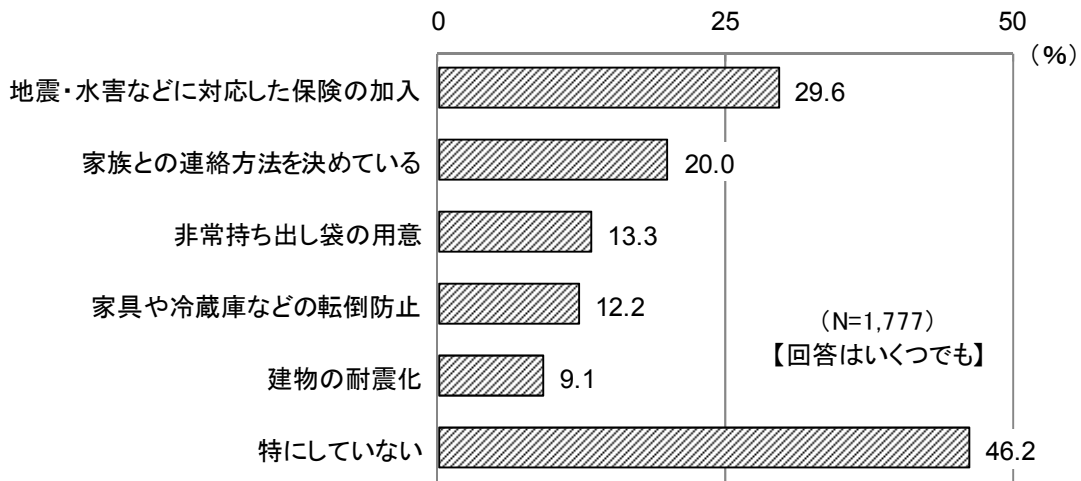
【年齢別】「水」を3日分以上備蓄している割合は70歳以上で、「食料」を3日以上備蓄している割合は60歳代以上で、それぞれ2割を超えている。

	標本数 (票)	(ア)水 (%)					(イ)食料 (%)				
		1日分	2日分	3日分以上	何もしていない	無回答	1日分	2日分	3日分以上	何もしていない	無回答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,777)	14.4 (256)	13.9 (247)	11.7 (208)	59.5 (1,057)	0.5 (9)	12.8 (227)	16.4 (292)	19.7 (350)	50.4 (896)	0.7 (12)
性別											
男性	826	13.6	15.4	11.6	59.0	0.5	13.0	15.4	21.3	49.9	0.5
女性	951	15.1	12.6	11.8	59.9	0.5	12.6	17.4	18.3	50.9	0.8
性別×年齢											
男性:20歳代	90	8.9	8.9	10.0	71.1	1.1	12.2	11.1	17.8	57.8	1.1
男性:30歳代	142	14.1	16.2	8.5	60.6	0.7	13.4	14.1	16.9	54.9	0.7
男性:40歳代	132	19.7	16.7	5.3	58.3	-	15.2	17.4	13.6	53.8	-
男性:50歳代	160	15.0	13.1	10.0	61.3	0.6	15.0	16.9	19.4	48.8	-
男性:60歳代	210	13.8	17.1	14.8	53.8	0.5	11.9	14.8	27.1	45.7	0.5
男性:70歳以上	92	5.4	18.5	22.8	53.3	-	8.7	17.4	32.6	40.2	1.1
女性:20歳代	125	15.2	11.2	5.6	67.2	0.8	10.4	14.4	9.6	64.8	0.8
女性:30歳代	150	12.7	8.0	10.7	68.7	-	14.7	17.3	10.7	56.7	0.7
女性:40歳代	187	18.2	10.7	8.6	62.6	-	16.6	14.4	17.6	50.8	0.5
女性:50歳代	197	15.7	12.7	10.2	60.9	0.5	12.2	20.8	18.3	48.2	0.5
女性:60歳代	193	14.5	17.6	16.1	51.3	0.5	11.9	18.1	26.9	41.5	1.6
女性:70歳以上	99	13.1	15.2	22.2	47.5	2.0	7.1	18.2	25.3	48.5	1.0
ブロック別											
東部A	132	12.9	13.6	7.6	65.9	-	12.1	17.4	17.4	52.3	0.8
東部B(田主丸)	125	12.0	12.0	10.4	65.6	-	7.2	16.8	21.6	54.4	-
北部A	161	14.3	12.4	11.2	62.1	-	11.8	15.5	14.3	57.1	1.2
北部B(北野)	112	10.7	14.3	11.6	63.4	-	8.9	17.0	27.7	46.4	-
中央東部	219	13.2	16.4	13.7	55.7	0.9	14.2	19.6	21.5	43.8	0.9
南東部	190	15.8	12.6	13.2	58.4	-	13.2	16.8	15.8	54.2	-
中央部	230	17.4	13.9	14.3	53.5	0.9	13.5	15.7	21.3	49.1	0.4
中央南部	289	17.0	15.9	9.3	57.8	-	15.2	16.3	20.8	47.4	0.3
南西部	154	15.6	10.4	14.9	57.1	1.9	14.9	16.2	19.5	47.4	1.9
西部A(城島)	70	10.0	22.9	7.1	58.6	1.4	10.0	12.9	24.3	51.4	1.4
西部B(三潞)	95	10.5	8.4	11.6	68.4	1.1	12.6	12.6	13.7	60.0	1.1

(3) 家庭で行っている災害対策

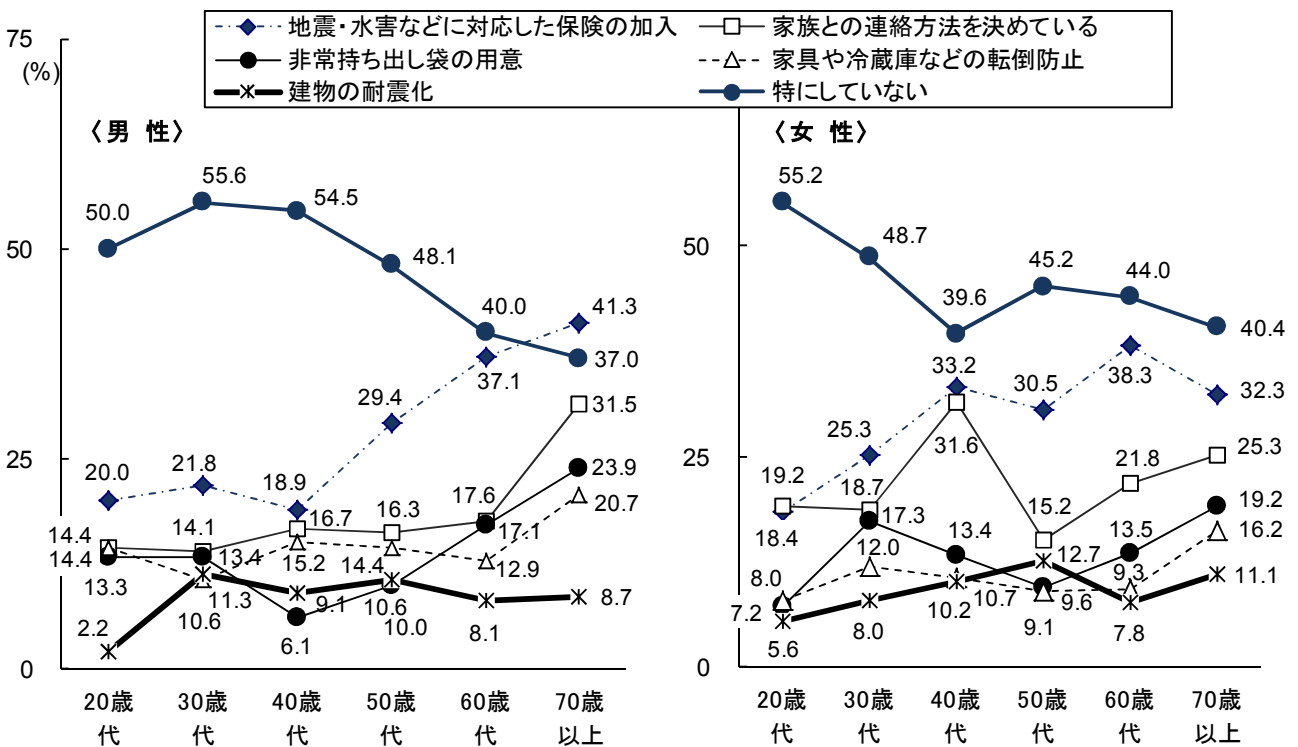
「保険の加入」が約3割、「連絡方法を決めている」が2割の一方で、「特にしていない」も約半数。
 「特にしていない」割合は、男性では20～40歳代、女性では20歳代で特になくなっている。

問5 あなたのご家庭では、地震などの災害に備え、次にあげるような対策をとっていますか。
 (あてはまる番号にいくつでも○印)



■図2-2 性別・年齢別にみた、家庭で行っている災害対策

◇男性70歳以上は「地震・水害などに対応した保険の加入」、「家族との連絡方法を決めている」、「非常持ち出し袋の用意」、「家具や冷蔵庫などの転倒防止」の4項目で割合が高くなっている。



◆属性別特徴

【性別】「家族との連絡方法を決めている」割合は女性で、「家具や冷蔵庫などの転倒防止」は男性でやや高い。

【年齢別】「保険の加入」は60歳代以上で、「家族との連絡方法を決めている」は40歳代と70歳以上で、「非常持ち出し袋の用意」は70歳以上でそれぞれ行っている割合が高い。

【ブロック別】「保険の加入」の割合は東部Bと北部Bで他の地域と比べて高くなっている。

		標本数 (票)	地震などの災害に備えた対策 (%)						無回答	
			の非常 持ち 出し 袋	法家 族と 決め て連 絡す 方	の地 震に 対し た水 害な ど	建 物の 耐震 化	ど家 具や 転倒 防止	特 にし てい ない		
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,777)	13.3 (237)	20.0 (355)	29.6 (526)	9.1 (161)	12.2 (217)	46.2 (821)	0.7 (12)	
性別	男性	826	13.7	17.8	28.7	8.7	14.2	47.3	0.5	
	女性	951	13.0	21.9	30.4	9.4	10.5	45.2	0.8	
年齢別	20歳代	215	9.8	17.2	19.1	4.2	10.7	53.0	2.3	
	30歳代	292	15.4	16.4	23.6	9.6	11.3	52.1	1.0	
	40歳代	319	10.3	25.4	27.3	9.7	12.5	45.8	-	
	50歳代	357	9.8	15.7	30.0	11.8	11.5	46.5	0.6	
	60歳代	403	15.4	19.6	37.7	7.9	11.2	41.9	0.2	
	70歳以上	191	21.5	28.3	36.6	9.9	18.3	38.7	0.5	
	性別× 年齢	男性:20歳代	90	13.3	14.4	20.0	2.2	14.4	50.0	2.2
男性:30歳代		142	13.4	14.1	21.8	11.3	10.6	55.6	0.7	
男性:40歳代		132	6.1	16.7	18.9	9.1	15.2	54.5	-	
男性:50歳代		160	10.0	16.3	29.4	10.6	14.4	48.1	-	
男性:60歳代		210	17.1	17.6	37.1	8.1	12.9	40.0	0.5	
男性:70歳以上		92	23.9	31.5	41.3	8.7	20.7	37.0	-	
女性:20歳代		125	7.2	19.2	18.4	5.6	8.0	55.2	2.4	
女性:30歳代		150	17.3	18.7	25.3	8.0	12.0	48.7	1.3	
女性:40歳代		187	13.4	31.6	33.2	10.2	10.7	39.6	-	
女性:50歳代		197	9.6	15.2	30.5	12.7	9.1	45.2	1.0	
女性:60歳代		193	13.5	21.8	38.3	7.8	9.3	44.0	-	
女性:70歳以上		99	19.2	25.3	32.3	11.1	16.2	40.4	1.0	
ブ ロ ッ ク 別		東部A	132	13.6	15.9	31.1	6.1	11.4	49.2	-
		東部B(田主丸)	125	4.0	16.8	44.0	10.4	12.8	38.4	-
	北部A	161	13.7	18.6	22.4	9.9	9.3	52.8	1.9	
	北部B(北野)	112	11.6	15.2	44.6	17.0	9.8	38.4	-	
	中央東部	219	18.3	24.7	23.3	7.8	11.0	45.7	-	
	南東部	190	12.6	20.0	31.6	10.5	14.2	43.2	0.5	
	中央部	230	15.7	25.2	23.0	6.5	11.7	50.9	-	
	中央南部	289	15.2	21.8	28.0	8.0	16.3	45.0	0.7	
	南西部	154	13.0	20.1	29.9	8.4	11.7	44.2	1.3	
	西部A(城島)	70	14.3	11.4	32.9	8.6	8.6	51.4	2.9	
西部B(三潁)	95	5.3	14.7	31.6	11.6	11.6	49.5	2.1		

(4) 避難所の認知

「自宅近くの避難所」の認知は73.9%と高くなっているが、「仕事場や学校近くの避難所」の認知は32.1%で、知らない人が多い。

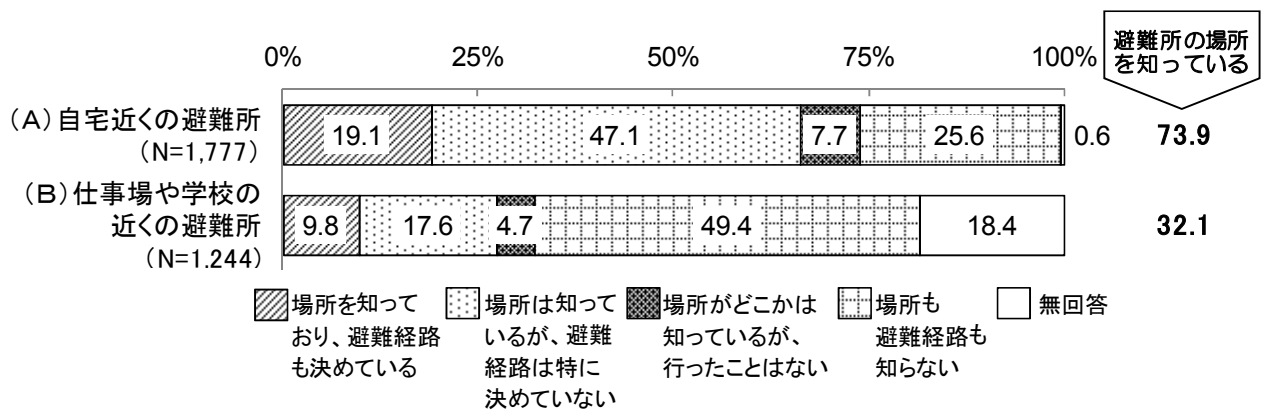
「避難所の場所も避難経路も知らない」割合は、年齢が低くなるほど高くなっている。

問6 久留米市では、災害が起こった時のために、校区内の公立小中学校やコミュニティセンター、市役所関連施設などを避難所に指定しています。次の(A)(B)について、あてはまるものを選んでください。(あてはまる番号にそれぞれ1つずつ〇印)

(A) 自宅近くにある避難所の場所を知っていますか。

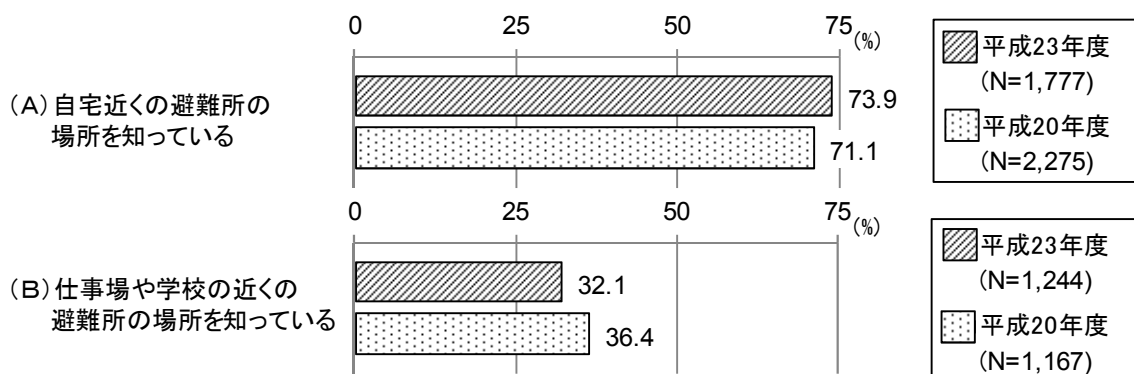
(B) 【通勤・通学をされている方にお聞きします。】

あなたの仕事場や学校の近くにある避難所の場所を知っていますか。



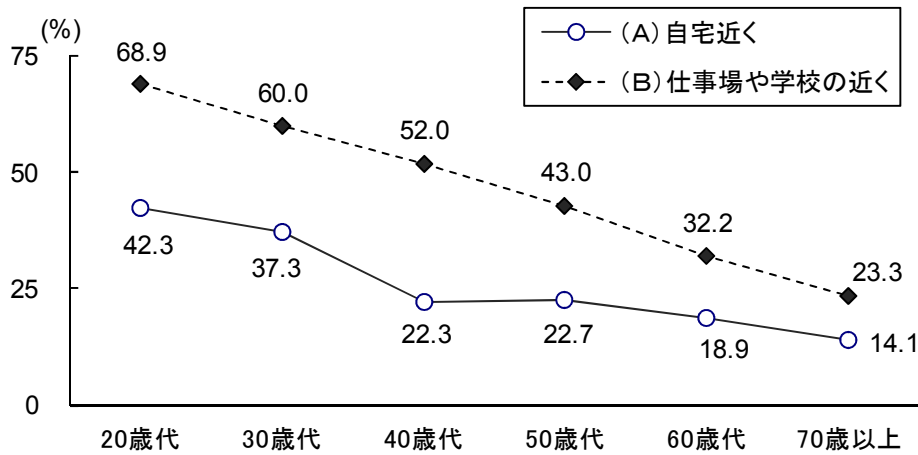
■ 図2-3 避難所の認知(平成20年度との比較)

◇ 自宅近くの避難所の場所を知っている割合は、3年前と大差はない。



■図2-4 年齢別にみた場所も避難経路も知らない割合

◇20歳代で自宅近くの避難所の「場所も避難経路も知らない」割合は4割を超える。



◆属性別特徴

【性別】自宅近くの避難所の「場所も避難経路も知らない」割合は、女性より男性の方が高い。

【年齢別】自宅近くにある避難所を「知っており、避難経路も決めている」割合は70歳以上で3割を超えている。

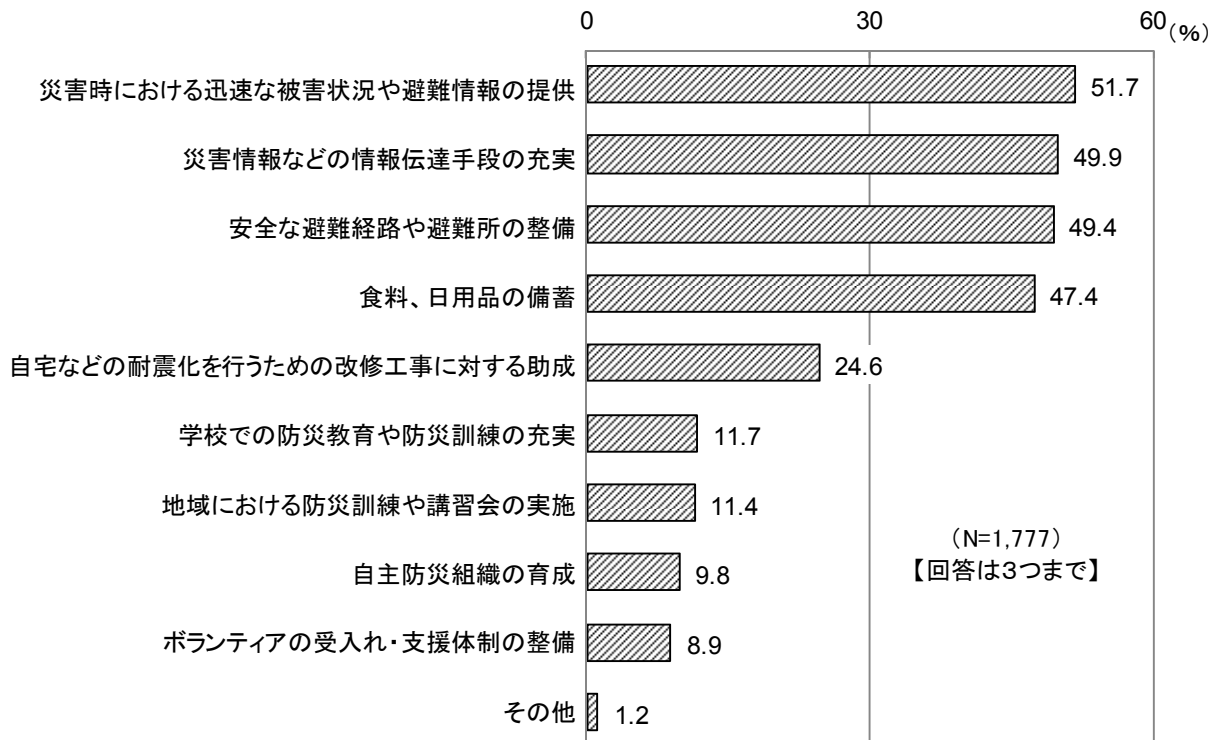
【ブロック別】自宅近くにある避難所の「場所も避難経路も知らない」割合は、北部Bでほかの地域と比べて低くなっている。

	標本数 (票)	(A) 自宅近くにある避難所 (%)					標本数 (票)	(B) 職場や学校の近くにある避難所 (%)				
		避難経路も決めていない	避難経路は知っている	場所がどこか知らない	場所も避難経路も知らない	無回答		避難経路も決めていない	避難経路は知っている	場所がどこか知らない	場所も避難経路も知らない	無回答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,777)	19.1 (339)	47.1 (837)	7.7 (136)	25.6 (455)	0.6 (10)	100.0 (1,244)	9.8 (122)	17.6 (219)	4.7 (59)	49.4 (615)	18.4 (229)
性別												
男性	826	20.1	43.2	6.7	29.4	0.6	647	10.2	18.5	5.4	46.7	19.2
女性	951	18.2	50.5	8.5	22.3	0.5	597	9.4	16.6	4.0	52.4	17.6
年齢別												
20歳代	215	10.7	39.5	7.4	42.3	-	193	9.3	15.0	3.1	68.9	3.6
30歳代	292	11.3	41.4	9.2	37.3	0.7	230	6.5	17.0	6.1	60.0	10.4
40歳代	319	18.5	54.9	4.1	22.3	0.3	277	12.6	21.7	3.6	52.0	10.1
50歳代	357	14.8	55.7	6.2	22.7	0.6	279	11.5	19.7	3.9	43.0	21.9
60歳代	403	25.1	46.7	8.9	18.9	0.5	205	8.3	15.6	5.9	32.2	38.0
70歳以上	191	36.6	36.1	11.5	14.1	1.6	60	8.3	6.7	10.0	23.3	51.7
ブロック別												
東部A	132	15.9	51.5	6.1	26.5	-	103	5.8	18.4	5.8	49.5	20.4
東部B (田主丸)	125	15.2	45.6	17.6	20.8	0.8	105	6.7	21.0	6.7	31.4	34.3
北部A	161	16.8	48.4	6.2	27.3	1.2	118	7.6	21.2	3.4	52.5	15.3
北部B (北野)	112	17.0	50.0	14.3	17.9	0.9	88	10.2	15.9	3.4	47.7	22.7
中央東部	219	19.6	46.6	5.5	27.4	0.9	143	6.3	20.3	5.6	51.0	16.8
南東部	190	20.5	46.8	5.3	27.4	-	119	10.9	15.1	5.9	51.3	16.8
中央部	230	23.0	43.5	7.0	26.5	-	155	10.3	13.5	7.7	50.3	18.1
中央南部	289	18.7	45.7	6.6	28.7	0.3	204	12.7	17.6	3.4	53.9	12.3
南西部	154	19.5	51.3	3.9	25.3	-	100	11.0	20.0	-	51.0	18.0
西部A (城島)	70	17.1	48.6	12.9	20.0	1.4	46	8.7	13.0	-	58.7	19.6
西部B (三瀬)	95	23.2	44.2	8.4	22.1	2.1	63	19.0	14.3	7.9	42.9	15.9

(5) 防災対策

「迅速な被害状況や避難情報の提供」「情報伝達手段の充実」とともに「避難所の整備」や「食料、日用品の備蓄」が上位。

問7 今後、久留米市が防災対策を進める上で、特に力を入れるべきだと思うものは何ですか。
(あてはまる番号に3つまで○印)





◆属性別特徴

- 【性別】「安全な避難経路や避難所の整備」の割合は男性より女性で高くなっている。
- 【年齢別】「情報伝達手段の充実」の割合は50歳代でやや高く、「食料、日用品の備蓄」は60歳代でやや低い。
- 【ブロック別】地域別で特に差は見られない。

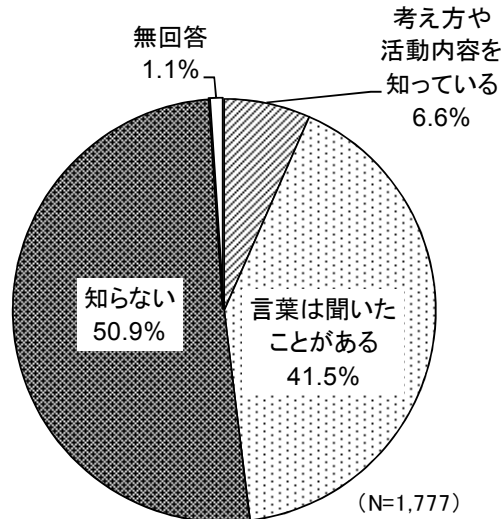
	標本数 (票)	久留米市が防犯対策を進める上で特に力を入れるべきこと (%)										
		安全な 避難 経路 や 避	食料、 日用品 の 備蓄	災害 情報 の 充 実	災害 時 に お け る 避 難 情 報 の 提 供	災害 時 に お け る 避 難 情 報 の 提 供	地域 に お け る 防 災 訓 練	学 校 で の 防 災 教 育 や	自 主 防 災 組 織 の 育 成	ボ ラン テイ ア の 受 入	行 う た め の 改 修 工 事	自 宅 な ど の 耐 震 化
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,777)	49.4 (877)	47.4 (843)	49.9 (886)	51.7 (919)	11.4 (202)	11.7 (208)	9.8 (175)	8.9 (158)	24.6 (438)	1.2 (22)	1.4 (25)
性別												
男性	826	45.8	45.8	48.8	50.5	11.3	11.7	10.4	9.2	26.3	1.5	1.3
女性	951	52.5	48.9	50.8	52.8	11.5	11.7	9.4	8.6	23.2	1.1	1.5
年齢別												
20歳代	215	47.4	51.2	45.1	50.2	7.9	8.8	9.8	15.3	24.7	2.3	0.9
30歳代	292	50.0	52.4	50.0	47.9	11.6	14.4	6.8	7.5	26.7	2.1	1.0
40歳代	319	49.2	50.2	45.8	51.1	9.4	16.0	9.4	8.2	27.3	0.9	1.6
50歳代	357	52.7	44.5	56.0	56.9	10.9	9.5	10.4	9.2	23.5	0.3	0.6
60歳代	403	51.1	41.9	52.4	52.4	13.4	10.7	11.4	8.2	21.8	1.0	1.5
70歳以上	191	40.8	48.2	45.0	49.2	14.7	9.9	11.0	5.8	25.1	1.6	3.7
性別×年齢												
男性:20歳代	90	41.1	45.6	50.0	42.2	2.2	7.8	11.1	18.9	25.6	3.3	1.1
男性:30歳代	142	42.3	50.7	47.2	44.4	8.5	14.8	8.5	10.6	28.9	2.1	2.1
男性:40歳代	132	46.2	47.7	47.0	49.2	7.6	19.7	9.8	6.1	26.5	1.5	1.5
男性:50歳代	160	49.4	44.4	54.4	58.1	13.1	10.0	8.1	8.1	26.9	0.6	-
男性:60歳代	210	49.5	41.0	48.6	51.4	16.2	9.5	11.9	9.0	22.9	1.4	1.4
男性:70歳以上	92	40.2	48.9	43.5	54.3	15.2	7.6	14.1	4.3	29.3	-	2.2
女性:20歳代	125	52.0	55.2	41.6	56.0	12.0	9.6	8.8	12.8	24.0	1.6	0.8
女性:30歳代	150	57.3	54.0	52.7	51.3	14.7	14.0	5.3	4.7	24.7	2.0	-
女性:40歳代	187	51.3	51.9	44.9	52.4	10.7	13.4	9.1	9.6	27.8	0.5	1.6
女性:50歳代	197	55.3	44.7	57.4	55.8	9.1	9.1	12.2	10.2	20.8	-	1.0
女性:60歳代	193	52.8	43.0	56.5	53.4	10.4	11.9	10.9	7.3	20.7	0.5	1.6
女性:70歳以上	99	41.4	47.5	46.5	44.4	14.1	12.1	8.1	7.1	21.2	3.0	5.1
ブロック別												
東部A	132	47.7	40.9	59.8	51.5	6.8	14.4	9.1	7.6	25.8	0.8	1.5
東部B(田主丸)	125	50.4	52.0	48.8	44.0	14.4	11.2	9.6	9.6	19.2	0.8	3.2
北部A	161	53.4	43.5	46.6	57.1	6.8	16.8	6.8	8.7	24.2	-	1.9
北部B(北野)	112	50.9	43.8	56.3	50.0	12.5	10.7	9.8	5.4	33.9	0.9	-
中央東部	219	46.6	51.6	43.8	53.9	14.6	11.0	11.4	8.2	27.4	0.5	1.8
南東部	190	51.1	44.7	52.1	53.2	11.1	13.7	9.5	8.9	21.6	-	2.1
中央部	230	50.4	48.7	47.4	46.5	11.7	9.6	9.1	11.3	20.9	3.0	1.3
中央南部	289	49.1	49.8	48.8	54.0	10.0	8.7	9.7	10.0	25.3	2.1	0.7
南西部	154	46.1	50.6	51.9	51.3	13.6	12.3	12.3	10.4	23.4	1.9	-
西部A(城島)	70	47.1	50.0	52.9	51.4	8.6	11.4	5.7	10.0	31.4	-	1.4
西部B(三瀧)	95	49.5	40.0	48.4	53.7	14.7	12.6	14.7	3.2	24.2	2.1	2.1

2-2 セーフコミュニティについて

(1) セーフコミュニティの認知度

「セーフコミュニティ」の認知は5割弱。

問8 あなたは、WHO（世界保健機関）関連機関が提唱する「セーフコミュニティ」のことを知っていますか。（あてはまる番号に1つだけ○印）



◆属性別特徴

【性別】、【ブロック別】認知度にめだつた差は見られない。

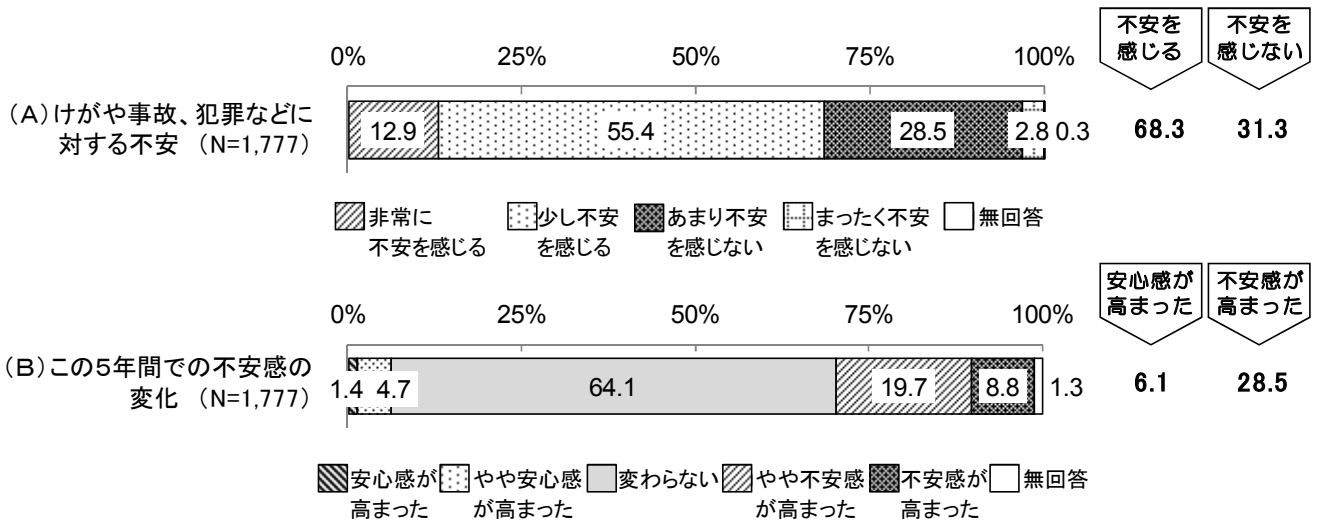
【年齢別】「知らない」割合は20歳代、40歳代でやや高くなっている。

	標本数 (票)	セーフコミュニティの認知 (%)					標本数 (票)	セーフコミュニティの認知 (%)				
		内容を 知つて いる	考え方 が活 動	言葉 があ る	知 ら な い			無 回 答	内容を 知つて いる	考え方 が活 動	言葉 があ る	知 ら な い
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,777)	6.6 (117)	41.5 (737)	50.9 (904)	1.1 (19)	全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,777)	6.6 (117)	41.5 (737)	50.9 (904)	1.1 (19)	
性別						性別×年齢						
男性	826	7.6	42.1	49.5	0.7	男性:20歳代	90	3.3	42.2	54.4	-	
女性	951	5.7	40.9	52.1	1.4	男性:30歳代	142	6.3	35.9	55.6	2.1	
年齢別	20歳代	215	4.2	37.2	58.1	0.5	男性:40歳代	132	9.1	31.1	59.1	0.8
	30歳代	292	5.1	41.4	52.4	1.0	男性:50歳代	160	8.1	42.5	49.4	-
	40歳代	319	7.8	34.8	56.4	0.9	男性:60歳代	210	8.1	46.2	44.8	1.0
	50歳代	357	6.7	41.5	51.0	0.8	男性:70歳以上	92	9.8	57.6	32.6	-
	60歳代	403	6.5	46.4	46.2	1.0	女性:20歳代	125	4.8	33.6	60.8	0.8
	70歳以上	191	9.4	47.1	40.8	2.6	女性:30歳代	150	4.0	46.7	49.3	-
	ブロック別	東部A	132	6.1	46.2	47.0	0.8	女性:40歳代	187	7.0	37.4	54.5
東部B(田主丸)		125	6.4	42.4	49.6	1.6	女性:50歳代	197	5.6	40.6	52.3	1.5
北部A		161	5.6	41.0	52.8	0.6	女性:60歳代	193	4.7	46.6	47.7	1.0
北部B(北野)		112	6.3	38.4	54.5	0.9	女性:70歳以上	99	9.1	37.4	48.5	5.1
中央東部		219	5.9	45.7	45.7	2.7						
南東部		190	8.9	40.5	50.0	0.5						
中央部		230	5.7	37.0	56.5	0.9						
中央南部		289	6.2	41.9	51.2	0.7						
南西部		154	8.4	42.9	48.1	0.6						
西部A(城島)		70	5.7	44.3	48.6	1.4						
西部B(三瀧)	95	7.4	35.8	55.8	1.1							

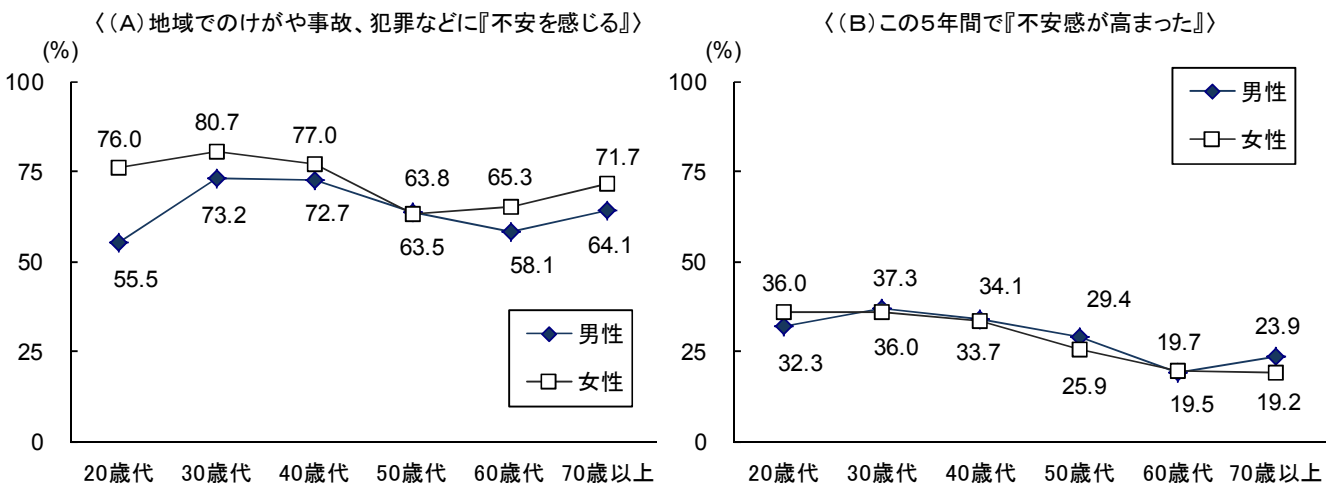
(2) 身近に起こりうるけがや事故、犯罪などについて

けがや事故、犯罪などへの不安を感じている人は7割弱。
この5年間で不安感が高まった人が3割弱。

問9 (A) あなたは、お住まいの地域でのけがや事故、犯罪などに対する不安を感じていますか。
(あてはまる番号に1つだけ〇印)
(B) では、この5年くらいの間で不安感に変化しましたか。(あてはまる番号に1つだけ〇印)



■ 図2-5 性別・年齢別にみた地域でのけがや事故、犯罪などに『不安を感じる』、『不安感が高まった』割合
◇『不安を感じる』割合は20歳代～40歳代の女性で特に高い。
『不安感が高まった』割合も20歳代～40歳代で高いが、性別で大きな差は見られない。



◆属性別特徴

【性別】男性より女性の方が地域でのけがや事故、犯罪などに『不安を感じる』割合は高い。

【年齢別】この5年間で『安心感が高まった』という割合は、70歳以上で1割を超えている。

【ブロック別】『不安を感じる』割合は北部Aで8割弱に達している。一方『不安を感じない』割合は、西部Bでは5割弱と比較的高くなっている。

	標本数 (票)	(A)けがや事故、犯罪などに対する不安(%)					(B)この5年間の不安感の変化(%)						
		感非 じ常 るに 不安 を	感少 じる 不安 を	感あ じま りな い不安 を	をま つた く不安 ない	無 回 答	ま安 つ心 た感 が高	高や まや つ安 た心 感が	変 わら ない	高や まや つ不 安感 が	高不 ま安 つ感 が	無 回 答	
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,777)	12.9 (230)	55.4 (985)	28.5 (507)	2.8 (49)	0.3 (6)	1.4 (24)	4.7 (84)	64.1 (1,139)	19.7 (350)	8.8 (157)	1.3 (23)	
性別													
男性	826	12.6	51.9	32.0	3.3	0.2	2.1	5.0	63.1	19.5	9.2	1.2	
女性	951	13.2	58.5	25.6	2.3	0.4	0.7	4.5	65.0	19.9	8.5	1.4	
年齢別													
20歳代	215	13.5	54.0	26.0	6.5	-	0.9	3.7	60.5	24.2	10.2	0.5	
30歳代	292	17.5	59.6	21.6	1.0	0.3	1.4	3.4	57.5	22.6	14.0	1.0	
40歳代	319	18.5	56.7	21.3	3.1	0.3	0.3	3.8	60.8	22.6	11.3	1.3	
50歳代	357	8.1	55.5	33.9	2.2	0.3	1.4	5.3	65.0	20.4	7.0	0.8	
60歳代	403	7.9	53.6	36.2	1.7	0.5	1.2	4.5	73.2	13.9	5.7	1.5	
70歳以上	191	15.7	52.4	27.7	3.7	0.5	3.7	8.9	62.8	16.2	5.2	3.1	
性別×年齢													
男性:20歳代	90	12.2	43.3	33.3	11.1	-	1.1	4.4	61.1	25.6	6.7	1.1	
男性:30歳代	142	21.1	52.1	23.9	2.1	0.7	2.1	2.1	57.0	20.4	16.9	1.4	
男性:40歳代	132	14.4	58.3	25.0	2.3	-	0.8	6.1	58.3	21.2	12.9	0.8	
男性:50歳代	160	10.0	53.8	34.4	1.9	-	1.9	5.6	63.1	20.0	9.4	-	
男性:60歳代	210	7.1	51.0	39.5	1.9	0.5	2.4	5.2	71.9	15.2	4.3	1.0	
男性:70歳以上	92	14.1	50.0	31.5	4.3	-	4.3	6.5	60.9	18.5	5.4	4.3	
女性:20歳代	125	14.4	61.6	20.8	3.2	-	0.8	3.2	60.0	23.2	12.8	-	
女性:30歳代	150	14.0	66.7	19.3	-	-	0.7	4.7	58.0	24.7	11.3	0.7	
女性:40歳代	187	21.4	55.6	18.7	3.7	0.5	-	2.1	62.6	23.5	10.2	1.6	
女性:50歳代	197	6.6	56.9	33.5	2.5	0.5	1.0	5.1	66.5	20.8	5.1	1.5	
女性:60歳代	193	8.8	56.5	32.6	1.6	0.5	-	3.6	74.6	12.4	7.3	2.1	
女性:70歳以上	99	17.2	54.5	24.2	3.0	1.0	3.0	11.1	64.6	14.1	5.1	2.0	
ブロック別													
東部A	132	12.1	53.0	31.1	3.8	-	3.0	4.5	69.7	14.4	7.6	0.8	
東部B(田主丸)	125	9.6	48.8	38.4	2.4	0.8	0.8	2.4	59.2	25.6	8.8	3.2	
北部A	161	18.0	59.0	18.0	4.3	0.6	1.2	6.8	54.7	19.3	16.1	1.9	
北部B(北野)	112	7.1	50.9	40.2	1.8	-	0.9	5.4	74.1	13.4	4.5	1.8	
中央東部	219	12.8	55.3	29.7	1.8	0.5	1.8	-	68.0	20.5	8.7	0.9	
南東部	190	13.2	60.0	24.7	2.1	-	-	5.3	61.1	22.6	11.1	-	
中央部	230	13.5	59.6	25.7	1.3	-	1.3	7.0	62.2	19.1	9.1	1.3	
中央南部	289	16.6	56.4	23.5	3.1	0.3	1.4	5.9	63.3	21.8	6.6	1.0	
南西部	154	13.0	55.2	27.9	3.9	-	1.3	6.5	65.6	18.8	7.1	0.6	
西部A(城島)	70	7.1	57.1	30.0	4.3	1.4	1.4	2.9	64.3	17.1	12.9	1.4	
西部B(三瀧)	95	8.4	44.2	43.2	3.2	1.1	2.1	3.2	68.4	17.9	5.3	3.2	

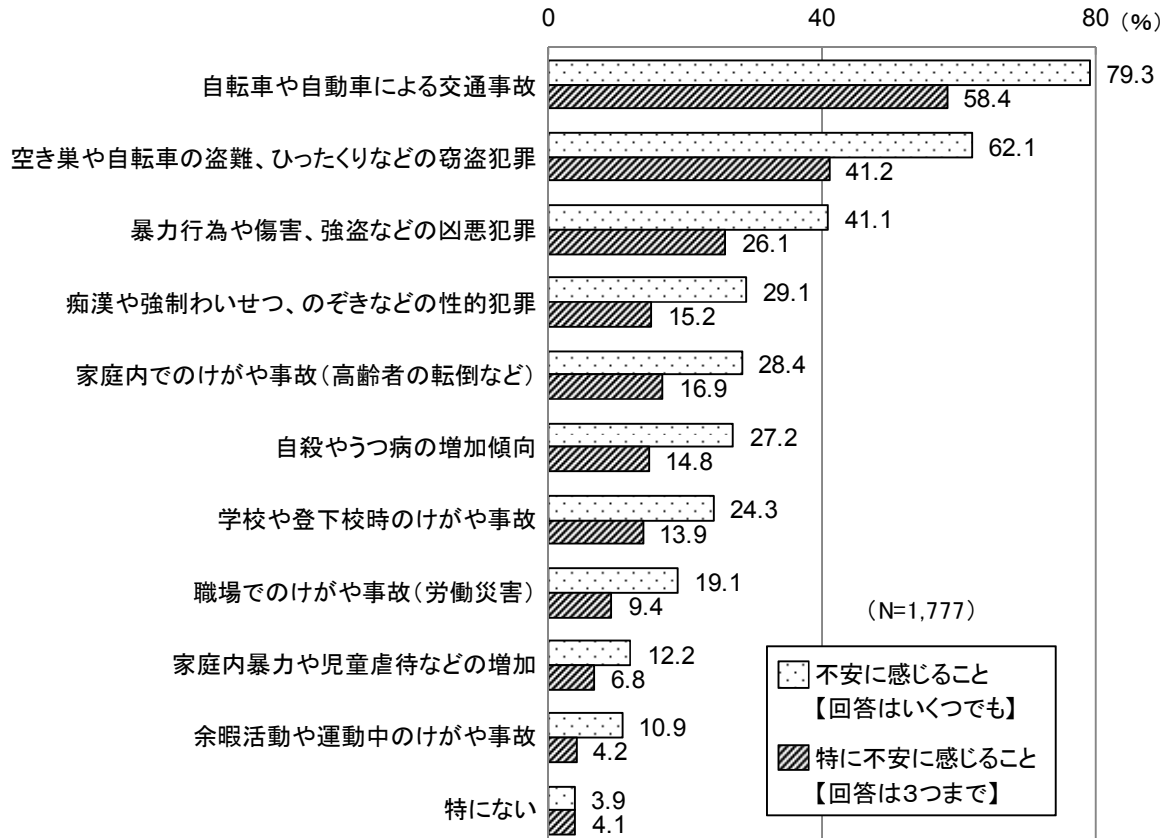


「交通事故」や「空き巣・窃盗犯罪」への不安が高い。「家庭内でのけがや事故」は70歳以上で、「学校や登下校時のけがや事故」「性的犯罪」は40歳代で特に高くなっている。

問10(A) あなたやあなたのご家族がふだん生活する中で、不安に感じることは何ですか。次にあげるものの中から、不安に感じるものをいくつでも選んでください。

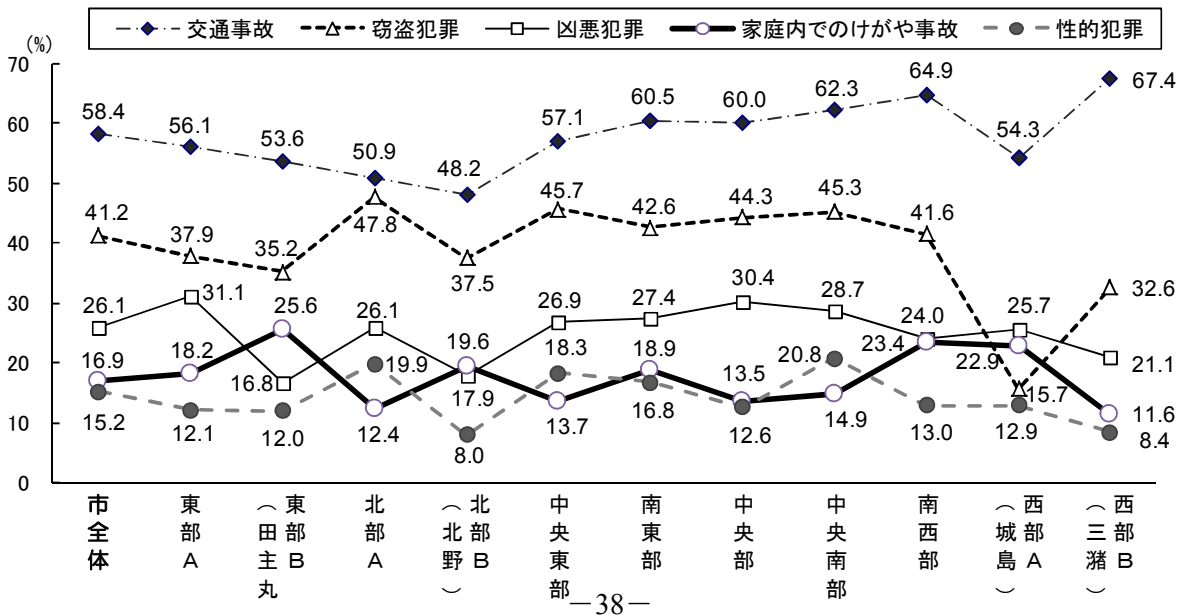
(あてはまる番号にいくつでも○印)

(B) さらに、特に不安に感じるものを3つまで(2つ以内でも構いません)選び、下の枠内に番号を記入してください。



■ 図2-6 ブロック別にみた特に不安に感じること(上位5項目)

◇「交通事故」は西部Bで、「性的犯罪」は中央南部や北部Aで他の地域より割合が高い。また「窃盗犯罪」をあげる割合は西部Aで他の地域と比べて低くなっている。



◆属性別特徴

【性別】「窃盗犯罪」「性的犯罪」は女性の方が、「職場でのけがや事故」は男性の方が割合は高い。

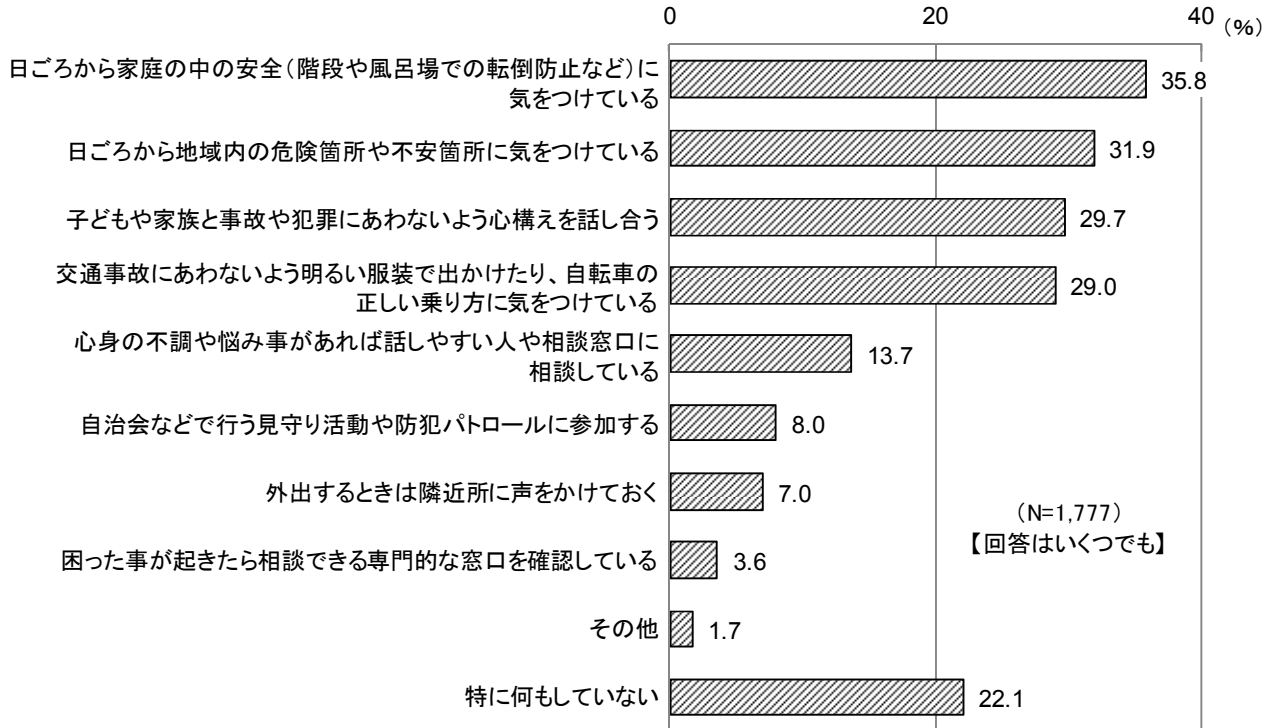
【年齢別】不安を感じることで、「自殺やうつ病の増加傾向」は男性で30歳代、女性で20歳代がそれぞれ高い。

		標本数 (票)	(A)不安に感じること (%)											特 に な い	無 回 答	
			よ る 交 通 事 故 車 に	自 転 車 や 自 動 車 に	虐 待 な ど の 暴 力 の 増 加 児 童	家 庭 内 の 暴 力 の 増 加 児 童	強 盗 な ど の 凶 悪 犯 罪	暴 行 な ど の 傷 害 、 盗 犯 な ど の 窃 盗 犯 罪	空 巣 の ひ つ た く り の 自 転 車 の 盗 難	性的 犯 罪 の そ ぞ き な ど の 強 制 わ い せ	つ ま み の や 強 制 わ い せ	痴 漢 や 強 制 わ い せ	故 職 場 で の け が や 事 故 (労 働 災 害)			の 余 暇 が 活 動 や 運 動 中
全 体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,777)	79.3 (1,410)	12.2 (216)	41.1 (730)	62.1 (1,104)	29.1 (517)	19.1 (340)	10.9 (194)	24.3 (431)	28.4 (504)	27.2 (483)	3.9 (70)	0.7 (12)		
性 別	男性	826	77.4	11.6	43.0	58.0	22.8	22.3	11.1	22.5	27.7	26.3	4.7	0.7		
	女性	951	81.1	12.6	39.4	65.7	34.6	16.4	10.7	25.8	28.9	28.0	3.3	0.6		
性 別 × 年 齢	男性:20歳代	90	68.9	10.0	37.8	45.6	15.6	33.3	13.3	12.2	14.4	27.8	10.0	1.1		
	男性:30歳代	142	72.5	12.0	50.7	56.3	31.0	26.1	9.2	31.7	19.7	33.8	4.2	1.4		
	男性:40歳代	132	83.3	12.1	48.5	64.4	34.8	23.5	9.1	40.9	12.9	28.0	3.0	-		
	男性:50歳代	160	80.0	12.5	41.3	61.3	23.8	31.3	11.3	20.6	31.3	21.9	5.6	-		
	男性:60歳代	210	74.8	10.5	38.1	60.0	15.7	15.2	10.5	15.7	33.3	28.6	5.2	1.0		
	男性:70歳以上	92	85.9	13.0	42.4	53.3	14.1	4.3	16.3	10.9	55.4	13.0	-	1.1		
	女性:20歳代	125	80.8	16.0	47.2	68.8	54.4	20.0	6.4	17.6	14.4	34.4	3.2	-		
	女性:30歳代	150	86.0	14.0	44.0	68.0	42.7	16.0	9.3	42.0	15.3	30.7	1.3	-		
	女性:40歳代	187	84.0	16.0	43.3	68.4	45.5	15.5	11.2	48.7	18.2	31.6	1.1	1.1		
	女性:50歳代	197	79.7	10.7	39.1	71.6	31.5	21.3	8.1	13.2	31.0	22.8	3.0	1.5		
女性:60歳代	193	76.7	10.4	29.0	58.5	16.1	10.9	14.0	12.4	41.5	25.4	6.7	0.5			
女性:70歳以上	99	79.8	8.1	36.4	55.6	19.2	15.2	16.2	19.2	59.6	24.2	4.0	-			
			(B)特に不安に感じること (%)													
全 体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,777)	58.4 (1,037)	6.8 (120)	26.1 (463)	41.2 (733)	15.2 (270)	9.4 (167)	4.2 (75)	13.9 (247)	16.9 (301)	14.8 (263)	4.1 (72)	12.4 (220)		
性 別	男性	826	57.1	6.7	28.2	38.7	12.0	11.3	5.1	12.3	17.1	14.6	5.0	12.8		
	女性	951	59.4	6.8	24.2	43.4	18.0	7.8	3.5	15.2	16.8	14.9	3.3	12.0		
性 別 × 年 齢	男性:20歳代	90	53.3	7.8	28.9	35.6	5.6	22.2	6.7	6.7	13.3	23.3	10.0	7.8		
	男性:30歳代	142	52.1	6.3	35.9	35.9	16.2	12.0	4.9	17.6	7.0	18.3	4.2	9.9		
	男性:40歳代	132	57.6	5.3	27.3	36.4	23.5	15.2	1.5	24.2	8.3	11.4	3.0	11.4		
	男性:50歳代	160	61.3	8.8	26.9	40.6	11.3	11.9	5.6	11.3	19.4	12.5	5.6	10.6		
	男性:60歳代	210	55.7	6.2	26.7	41.0	8.1	6.2	4.8	8.1	20.5	15.7	5.7	18.1		
	男性:70歳以上	92	64.1	5.4	22.8	41.3	5.4	4.3	8.7	4.3	37.0	6.5	1.1	16.3		
	女性:20歳代	125	60.8	6.4	34.4	48.0	29.6	9.6	3.2	6.4	7.2	22.4	3.2	6.4		
	女性:30歳代	150	68.7	8.7	24.0	44.0	26.7	7.3	2.7	25.3	6.0	14.0	1.3	6.7		
	女性:40歳代	187	64.2	6.4	25.7	44.9	26.2	8.6	1.1	34.2	7.5	14.4	1.1	8.6		
	女性:50歳代	197	55.8	7.1	23.4	46.7	13.7	9.1	2.5	5.6	20.3	11.7	3.0	15.2		
女性:60歳代	193	56.5	6.2	17.6	40.9	5.7	4.7	5.7	7.8	28.0	14.0	6.7	15.5			
女性:70歳以上	99	47.5	6.1	23.2	32.3	7.1	8.1	7.1	9.1	34.3	16.2	4.0	20.2			

(3) 不安を取り除くためにふだんから心がけていること

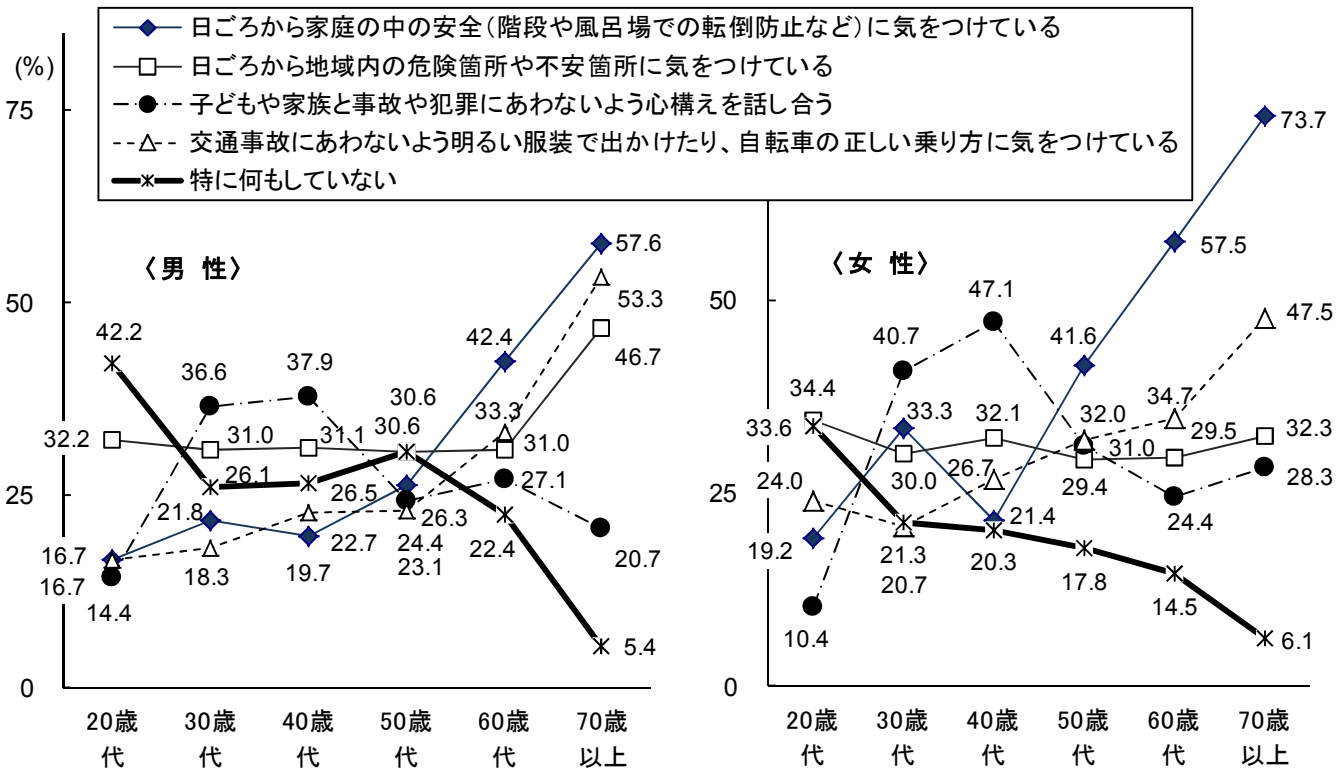
「家庭の中の安全に気をつけている」が35.8%で最も多いが、「特に何もしていない」も22.1%。

問 11 あなたが、けがや事故、犯罪などに対して、不安を取り除くためにふだんから心がけていることは何ですか。(あてはまる番号にいくつでも○印)



■ 図2-7 性別・年齢別にみた、不安を取り除くためにふだんから心がけていること(上位5項目)

◇「家庭の中の安全に気をつけている」割合は男性では70歳以上、女性では60歳代以上で5割を超える。「特に何もしていない」は20歳代で高くなっており、男性20歳代で4割を超えている。



◆属性別特徴

【性別】「家庭の中の安全に気をつけている」「話しやすい人や相談窓口相談」の割合は女性の方が、「特に何もしていない」割合は男性の方が高くなっている。

【年齢別】「家庭の中の安全に気をつけている」の割合は60歳代以上で特に高い。「子どもや家族と話し合う」は40歳代で、「交通事故にあわないよう明るい服装で出かけたり、自転車の正しい乗り方に気をつけている」は70歳以上で特に割合が高い。

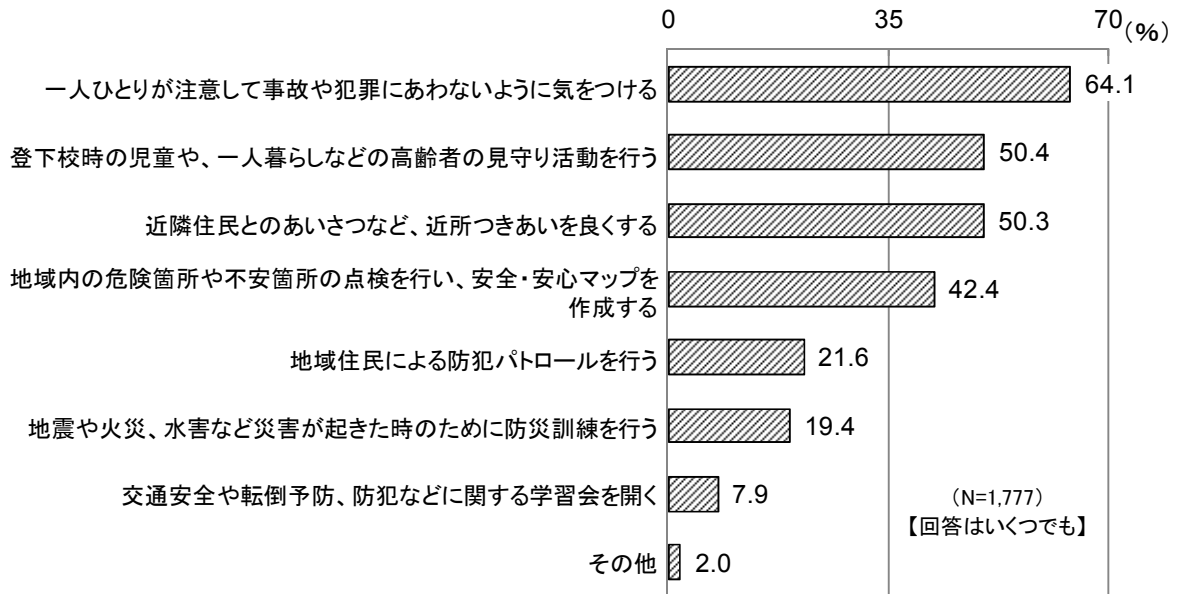
【ブロック別】「家庭の中の安全に気をつけている」の割合は南東部と西部Bで特に高い。「見守り活動や防犯パトロールに参加」は東部Aで約2割に達している。一方「特に何もしていない」割合は東部Bで他地域より高い。

		標本数 (票)	けがや事故、犯罪などの不安を取り除くためにふだんから心がけていること (%)											
			し服交 い装通 乗で事 り出故 方か にけ 気たわ をつ け て い 車 の 正 い	わ子 など いも や 心 族 と 構 え を 話 し 合 う あ	防自 犯治 パ会 トな ロー ール に 行 う 見 守 り 活 動 や	け外 て出 おす く と き は 隣 近 所 に 声 を か	不日 安ご 箇所 から に 地 域 内 の 危 険 箇 所 や	に段日 気や を風 つ呂 けて い 場 家 庭 の 中 の 防 止 安 全 な ど (階	てし心 いや すの い不 人調 やや 相悩 談み 窓事 口に あ ら ば 話	専困 門つ 的た な事 な起 窓き 口た を確 認 し て い る	そ 他	特 に 何 も し て い な い	無 回 答	
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,777)	29.0 (515)	29.7 (528)	8.0 (142)	7.0 (125)	31.9 (566)	35.8 (636)	13.7 (243)	3.6 (64)	1.7 (30)	22.1 (392)	0.7 (13)	
性別	男性	826	27.5	27.8	8.1	6.8	32.8	31.0	7.1	3.5	1.6	25.5	1.0	
	女性	951	30.3	31.3	7.9	7.3	31.0	40.0	19.3	3.7	1.8	19.0	0.5	
年齢別	20歳代	215	20.9	12.1	2.8	1.9	33.5	18.1	15.3	1.9	1.9	37.2	1.4	
	30歳代	292	19.5	38.7	4.8	3.4	30.5	27.7	14.0	3.8	2.1	23.6	0.7	
	40歳代	319	25.1	43.3	11.3	5.6	31.7	20.7	12.9	3.4	1.9	22.9	0.3	
	50歳代	357	28.0	28.0	6.4	4.5	30.0	34.7	16.0	3.1	2.0	23.5	1.1	
	60歳代	403	34.0	25.8	9.7	10.4	30.3	49.6	12.2	3.5	1.7	18.6	0.5	
	70歳以上	191	50.3	24.6	12.6	18.3	39.3	66.0	11.5	6.8	-	5.8	0.5	
	性別×年齢	男性:20歳代	90	16.7	14.4	5.6	2.2	32.2	16.7	10.0	3.3	2.2	42.2	-
男性:30歳代		142	18.3	36.6	3.5	2.1	31.0	21.8	9.2	4.2	0.7	26.1	1.4	
男性:40歳代		132	22.7	37.9	7.6	6.1	31.1	19.7	5.3	1.5	1.5	26.5	0.8	
男性:50歳代		160	23.1	24.4	8.8	3.1	30.6	26.3	8.1	2.5	2.5	30.6	1.3	
男性:60歳代		210	33.3	27.1	9.0	10.0	31.0	42.4	6.7	3.3	1.9	22.4	1.0	
男性:70歳以上		92	53.3	20.7	15.2	18.5	46.7	57.6	3.3	7.6	-	5.4	1.1	
女性:20歳代		125	24.0	10.4	0.8	1.6	34.4	19.2	19.2	0.8	1.6	33.6	2.4	
女性:30歳代		150	20.7	40.7	6.0	4.7	30.0	33.3	18.7	3.3	3.3	21.3	-	
女性:40歳代		187	26.7	47.1	13.9	5.3	32.1	21.4	18.2	4.8	2.1	20.3	-	
女性:50歳代		197	32.0	31.0	4.6	5.6	29.4	41.6	22.3	3.6	1.5	17.8	1.0	
女性:60歳代		193	34.7	24.4	10.4	10.9	29.5	57.5	18.1	3.6	1.6	14.5	-	
女性:70歳以上		99	47.5	28.3	10.1	18.2	32.3	73.7	19.2	6.1	-	6.1	-	
ブロック別		東部A	132	25.0	34.8	19.7	5.3	26.5	32.6	13.6	3.0	1.5	22.7	1.5
		東部B(田主丸)	125	21.6	24.0	8.8	8.8	21.6	31.2	13.6	4.8	-	34.4	1.6
	北部A	161	28.6	32.3	9.9	5.0	29.8	29.2	10.6	2.5	1.2	22.4	-	
	北部B(北野)	112	26.8	28.6	5.4	7.1	26.8	39.3	17.9	2.7	0.9	26.8	0.9	
	中央東部	219	29.7	30.1	5.9	8.7	33.3	36.1	11.9	1.8	2.3	21.9	0.9	
	南東部	190	31.6	34.2	5.3	6.8	39.5	46.3	14.2	5.3	2.1	16.3	0.5	
	中央部	230	29.6	23.9	8.3	4.3	33.0	31.3	15.7	3.0	2.2	24.8	0.4	
	中央南部	289	35.6	31.5	4.2	6.9	34.9	36.0	12.8	4.5	2.4	17.3	0.3	
	南西部	154	28.6	29.2	9.7	9.1	34.4	34.4	11.7	4.5	-	20.8	1.3	
	西部A(城島)	70	22.9	24.3	10.0	11.4	25.7	32.9	18.6	2.9	2.9	25.7	-	
西部B(三瀧)	95	24.2	30.5	7.4	7.4	31.6	46.3	14.7	4.2	2.1	17.9	1.1		

(4) 地域で必要な取り組みや対策

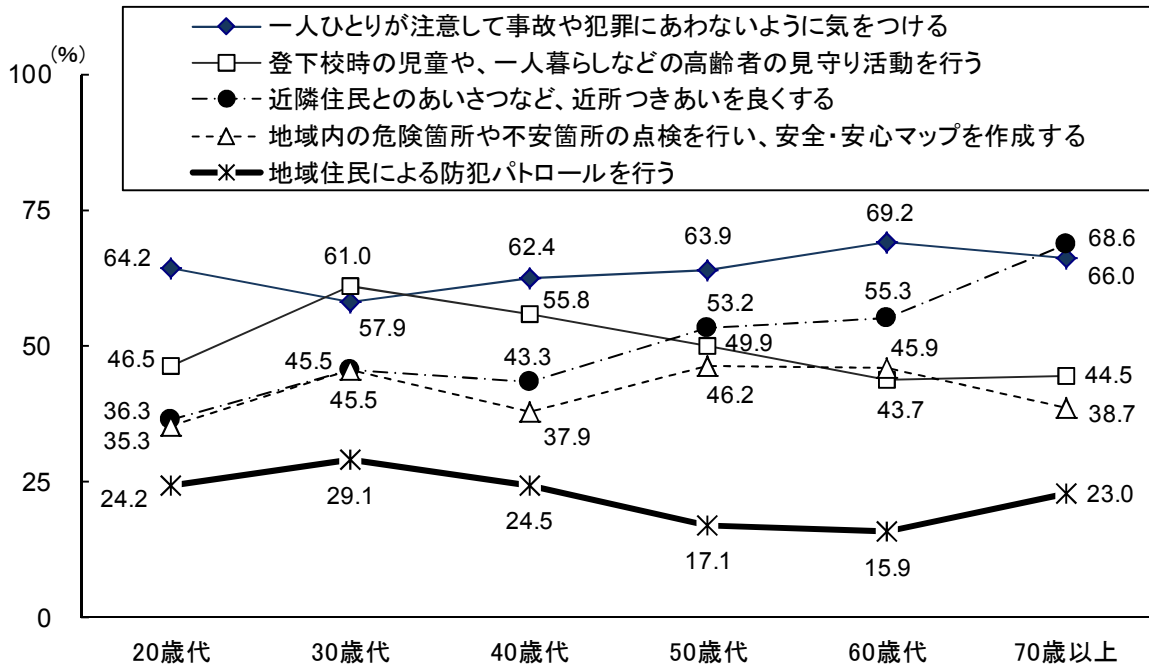
「一人ひとりが注意して事故や犯罪にあわないように気をつける」の割合が年代に関わりなく高い。

問 12 あなたは、けがや事故、犯罪などを防ぐために、**地域**では特にどのような取り組みや対策を行うことが必要だと思いますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)



■ 図2-8 年齢別にみた、地域で必要な取り組みや対策(上位5項目)

◇「近所つきあいを良くする」の割合は高齢層で高いが、30~40歳代では「登下校時の児童や一人暮らしなどの高齢者の見守り活動を行う」の割合が高くなっている。



◆属性別特徴

【性別】「登下校時の児童や一人暮らしなどの高齢者の見守り活動を行う」「防災訓練を行う」の割合は女性で特に高い。

【性別・年齢別】「登下校時の児童や一人暮らしなどの高齢者の見守り活動を行う」「防犯パトロールを行う」「防災訓練を行う」「学習会を開く」の割合はいずれも、女性30歳代で最も高くなっている。

【ブロック別】「安全・安心マップを作成する」の割合は南西部と南東部で、「地域住民による防犯パトロールを行う」は北部Aで、それぞれ他の地域より高くなっている。

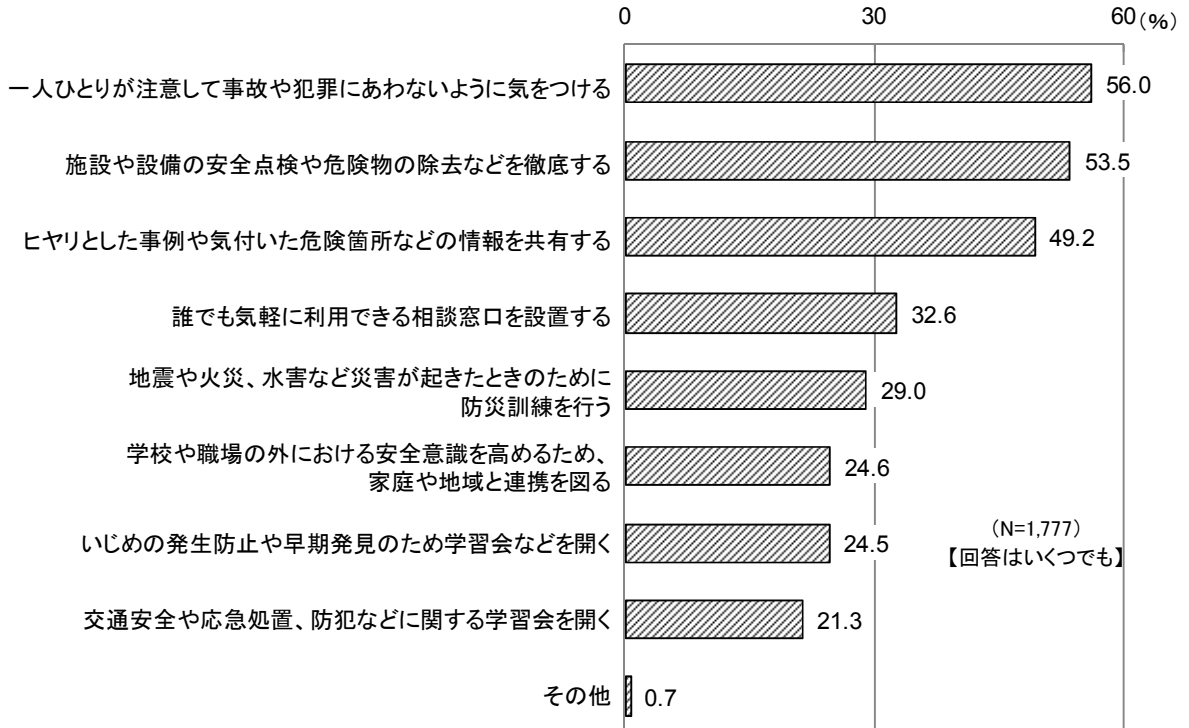
	標本数 (票)	けがや事故、犯罪などを防ぐために地域で必要な取り組み (%)									
		・箇地 安所域 心の内 マップ 検危 プを険 作い所 成、や す安 る全安	守暮登 りら下 活し校 動な時 をどの 行の児 う高童 者、 の一 見人	すど近 る、隣 近住 所民 つと きの ああ い をさ 良つ くな	ロ地 し域 ル住 を民 行に うよ る 防 犯 パ ト	開犯交 くな通 に全 関や す転 る倒 学予 習防 会、 を防	災害地 訓が震 練起や をき火 行た災 う時、 の水 の害 た害 にど 防災	に故一 気や人 を犯ひ つ罪と けにり るあが わ注 ない意 よて う事	そ の 他	無 回 答	
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,777)	42.4 (754)	50.4 (895)	50.3 (893)	21.6 (384)	7.9 (141)	19.4 (345)	64.1 (1,139)	2.0 (36)	2.1 (38)	
性別											
男性	826	40.6	44.1	47.8	21.8	7.4	16.8	62.3	2.5	3.0	
女性	951	44.1	55.8	52.4	21.5	8.4	21.7	65.6	1.6	1.4	
年齢別											
20歳代	215	35.3	46.5	36.3	24.2	7.0	22.3	64.2	2.3	3.3	
30歳代	292	45.5	61.0	45.5	29.1	12.3	22.9	57.9	2.1	2.4	
40歳代	319	37.9	55.8	43.3	24.5	7.2	22.9	62.4	3.8	1.6	
50歳代	357	46.2	49.9	53.2	17.1	5.9	19.0	63.9	1.4	1.4	
60歳代	403	45.9	43.7	55.3	15.9	7.2	16.9	69.2	1.0	2.0	
70歳以上	191	38.7	44.5	68.6	23.0	8.9	11.0	66.0	2.1	3.1	
性別×年齢											
男性:20歳代	90	33.3	37.8	31.1	25.6	7.8	20.0	71.1	4.4	3.3	
男性:30歳代	142	45.8	51.4	43.7	26.1	8.5	14.1	54.2	3.5	3.5	
男性:40歳代	132	30.3	47.0	46.2	26.5	7.6	16.7	62.1	2.3	3.8	
男性:50歳代	160	43.1	43.1	46.3	18.1	6.3	17.5	63.8	2.5	1.3	
男性:60歳代	210	44.8	40.5	51.4	17.6	5.7	18.6	62.4	1.0	3.3	
男性:70歳以上	92	40.2	44.6	67.4	20.7	10.9	13.0	64.1	3.3	3.3	
女性:20歳代	125	36.8	52.8	40.0	23.2	6.4	24.0	59.2	0.8	3.2	
女性:30歳代	150	45.3	70.0	47.3	32.0	16.0	31.3	61.3	0.7	1.3	
女性:40歳代	187	43.3	62.0	41.2	23.0	7.0	27.3	62.6	4.8	-	
女性:50歳代	197	48.7	55.3	58.9	16.2	5.6	20.3	64.0	0.5	1.5	
女性:60歳代	193	47.2	47.2	59.6	14.0	8.8	15.0	76.7	1.0	0.5	
女性:70歳以上	99	37.4	44.4	69.7	25.3	7.1	9.1	67.7	1.0	3.0	
ブロック別											
東部A	132	37.9	54.5	47.0	22.0	6.1	15.9	59.1	-	1.5	
東部B(田主丸)	125	36.8	52.0	50.4	21.6	7.2	26.4	61.6	0.8	4.8	
北部A	161	44.1	55.9	44.1	31.7	8.1	19.3	69.6	1.9	1.9	
北部B(北野)	112	35.7	50.9	48.2	14.3	7.1	22.3	63.4	3.6	3.6	
中央東部	219	44.3	48.9	51.1	21.0	7.8	15.5	63.9	1.8	2.3	
南東部	190	50.0	52.1	48.9	24.2	7.4	21.1	61.1	2.1	1.1	
中央部	230	43.5	44.8	43.9	21.7	8.7	19.1	62.6	1.7	3.0	
中央南部	289	39.8	52.2	53.6	22.5	7.6	17.6	66.8	3.1	2.1	
南西部	154	51.3	46.8	56.5	20.8	11.0	18.2	67.5	2.6	-	
西部A(城島)	70	32.9	47.1	51.4	11.4	7.1	24.3	62.9	2.9	1.4	
西部B(三瀨)	95	40.0	48.4	62.1	14.7	8.4	22.1	63.2	1.1	2.1	



(5) 学校や職場で必要な取り組みや対策

「一人ひとりが気をつける」、「施設や設備の安全点検や危険物の除去」、「ヒヤリとした事例や気づいた危険箇所などの情報を共有」の上位3項目が特に高い。

問 13 あなたは、けがや事故、犯罪などを防ぐために、**学校や職場**では特にどのような取り組みや対策を行うことが必要だと思いますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)



◆属性別特徴

【性別】「相談窓口を設置」「防災訓練」は女性の割合が特に高くなっている。

【年齢別】「一人ひとりが気をつける」は20歳代で、「施設や設備の安全点検や危険物の除去」や「防災訓練」「いじめの発生防止や早期発見のため学習会」は30歳代で、「ヒヤリとした事例や気付いた危険個所などの情報を共有」や「家庭や地域と連携を図る」は40歳代で特に割合が高い。

【ブロック別】地域別では特に目立った差は見られない。

		標本数 (票)	けがや事故、犯罪などを防ぐために学校や職場で必要な取り組み (%)																			
			す る	危 険 物 の 設 備 の 除 去 な ど を 徹 底 や	施 設 や 設 備 の 安 全 点 検 や	を 共 有 す る	い ち じ ん が 気 を つ け る	ヒ ヤ リ と し た 事 例 や 気 付 い た 危 険 個 所 な ど の 情 報 を 共 有	家 庭 や 地 域 と 連 携 を 図 る	安 全 意 識 を 高 め け る	学 校 や 職 場 の 外 に お け る	開 く	発 見 の め め	い じ め の 発 生 防 止 や 早 期 発 見 の た め の 学 習 会 な ど を 開 く	開 く	犯 罪 な ど に 関 与 す る	交 通 安 全 に 関 与 す る	防 災 訓 練 を 行 う	害 が 起 き た と き の た め に	地 震 や 火 災 、 水 害 な ど に	に 気 を つ け る	一 人 ひ と り に あ わ な い し て う
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,777)	53.5 (950)	49.2 (875)	24.6 (437)	24.5 (436)	21.3 (379)	29.0 (515)	56.0 (995)	32.6 (579)	0.7 (12)	5.0 (88)										
性別	男性	826	50.7	47.0	22.6	23.6	20.3	25.3	53.8	28.7	0.6	5.9										
	女性	951	55.8	51.2	26.3	25.3	22.2	32.2	57.9	36.0	0.7	4.1										
年齢別	20歳代	215	52.1	47.4	15.3	16.3	22.3	31.2	62.3	28.8	0.5	1.4										
	30歳代	292	60.6	54.1	29.1	34.9	29.5	38.4	52.4	33.9	1.7	4.1										
	40歳代	319	57.1	57.7	33.2	28.2	25.4	35.7	55.5	32.3	1.3	2.5										
	50歳代	357	57.7	52.4	23.2	23.5	19.0	27.5	55.7	33.9	0.3	3.6										
	60歳代	403	48.1	44.9	21.1	21.6	15.9	21.3	58.1	32.3	-	8.4										
	70歳以上	191	41.4	33.0	23.6	19.9	16.8	19.9	51.3	33.5	0.5	9.4										
	性別×年齢	男性:20歳代	90	44.4	45.6	13.3	20.0	24.4	24.4	63.3	23.3	-	1.1									
男性:30歳代		142	54.9	49.3	25.4	29.6	25.4	28.2	50.0	26.1	2.8	6.3										
男性:40歳代		132	56.1	56.1	31.1	28.8	18.9	31.8	52.3	33.3	-	4.5										
男性:50歳代		160	55.0	50.0	23.8	24.4	19.4	23.8	51.9	31.3	0.6	3.8										
男性:60歳代		210	46.7	44.8	19.0	19.0	16.7	20.5	55.7	26.7	-	9.0										
男性:70歳以上		92	44.6	31.5	21.7	19.6	20.7	26.1	51.1	31.5	-	8.7										
女性:20歳代		125	57.6	48.8	16.8	13.6	20.8	36.0	61.6	32.8	0.8	1.6										
女性:30歳代		150	66.0	58.7	32.7	40.0	33.3	48.0	54.7	41.3	0.7	2.0										
女性:40歳代		187	57.8	58.8	34.8	27.8	29.9	38.5	57.8	31.6	2.1	1.1										
女性:50歳代		197	59.9	54.3	22.8	22.8	18.8	30.5	58.9	36.0	-	3.6										
女性:60歳代		193	49.7	45.1	23.3	24.4	15.0	22.3	60.6	38.3	-	7.8										
女性:70歳以上		99	38.4	34.3	25.3	20.2	13.1	14.1	51.5	35.4	1.0	10.1										
ブロック別		東部A	132	56.1	48.5	22.0	28.0	24.2	27.3	59.8	28.8	-	2.3									
		東部B(田主丸)	125	42.4	41.6	24.8	31.2	20.8	25.6	47.2	32.8	1.6	11.2									
	北部A	161	55.9	50.9	23.0	19.9	20.5	29.8	57.1	31.1	1.2	5.0										
	北部B(北野)	112	50.9	50.9	24.1	25.0	23.2	37.5	52.7	38.4	-	4.5										
	中央東部	219	48.4	48.9	23.7	19.6	16.9	25.6	59.4	32.0	-	5.5										
	南東部	190	58.4	51.1	29.5	27.4	23.7	31.1	54.2	35.8	1.1	1.1										
	中央部	230	52.6	45.7	20.9	24.3	18.3	24.3	56.1	32.2	0.4	7.8										
	中央南部	289	58.5	51.9	26.0	24.2	22.5	29.4	57.4	35.6	1.0	2.8										
	南西部	154	53.2	55.2	29.9	24.7	25.3	29.9	59.7	28.6	0.6	2.6										
	西部A(城島)	70	52.9	44.3	24.3	28.6	20.0	38.6	54.3	28.6	-	2.9										
西部B(三瀧)	95	52.6	47.4	20.0	22.1	21.1	29.5	50.5	29.5	1.1	12.6											



(6) 地域の自主的な活動

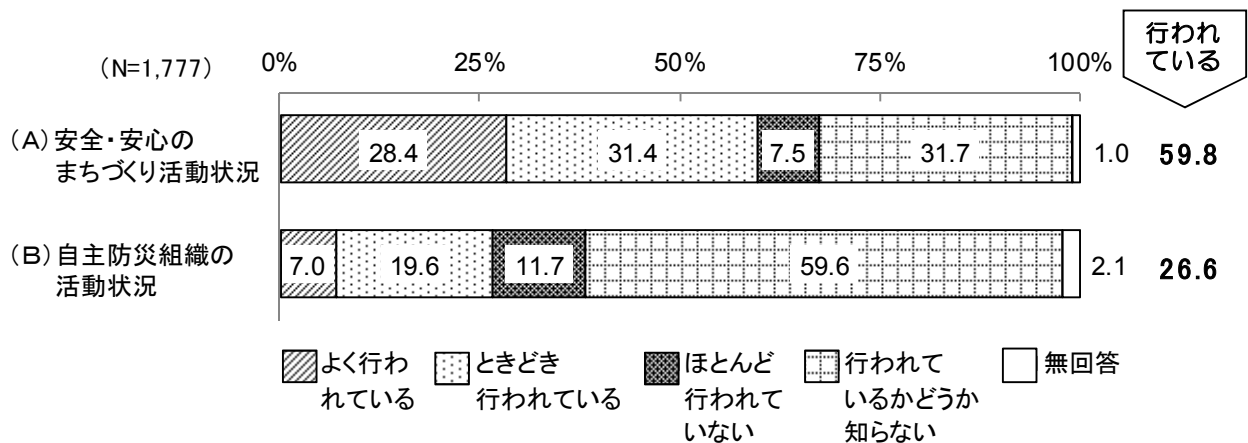
安全・安心のまちづくり活動は『行われている』が約6割。ただし、20歳代は半数以上が「行われているかどうか知らない」。

校区の自主防災組織の活動は「行われているかどうか知らない」が約6割。

問 14 (A) あなたのお住まいの地域では、住民の自主的な交通安全活動や防犯活動、見守り活動といった、安全・安心のまちづくり活動が行われていますか。

(あてはまる番号に1つだけ○印)

問 14 (B) あなたのお住まいの地域では、校区コミュニティ組織などを母体とした自主防災組織の活動が行われていますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



◆属性別特徴

【性別】

- ・(A)安全・安心のまちづくり活動については、性別で特に差は見られない。
- ・(B)自主防衛組織の活動については、「行われているかどうか知らない」割合が女性でやや高くなっている。

【年齢別】

- ・(A)(B)どちらも、『行われている』という割合は高齢層になるほど高くなっている。
- ・(B)自主防災組織の活動が「行われているかどうか知らない」割合は20歳代で7割を超える。

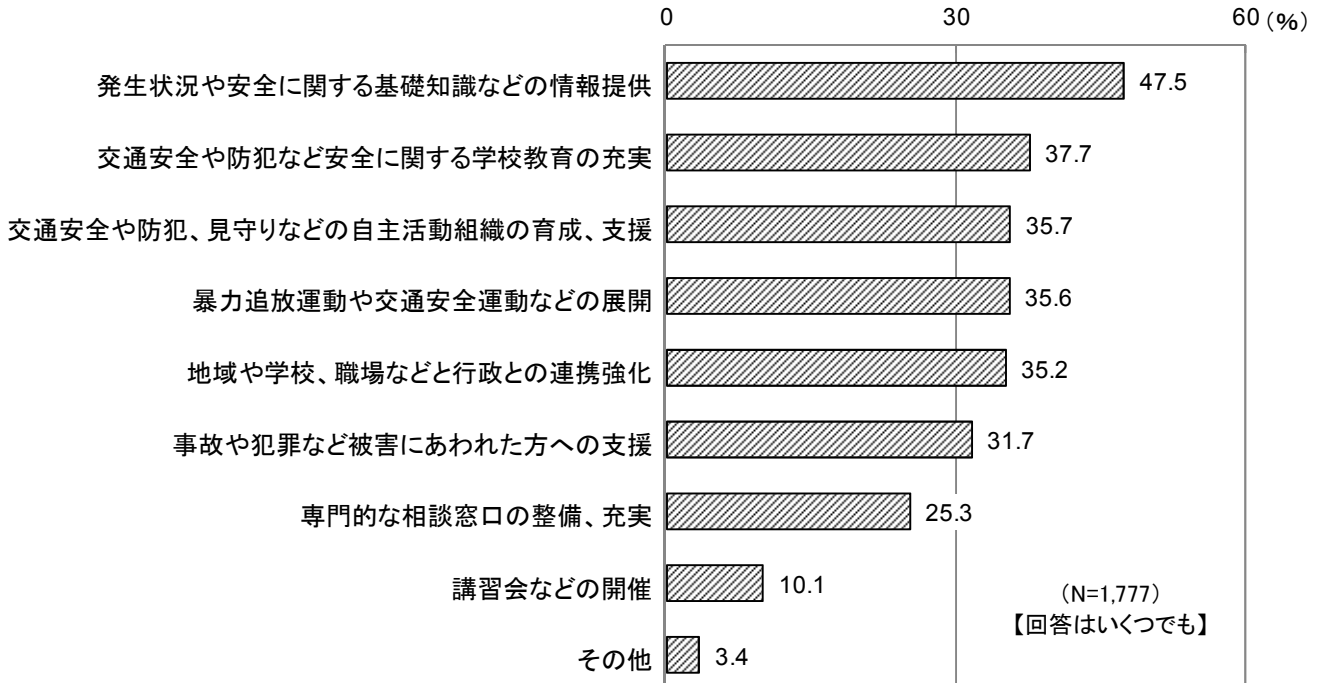
【ブロック別】(A)安全・安心のまちづくり活動が「よく行われている」割合は、東部Aで比較的高くなっている。

	標本数 (票)	(A)安全・安心のまちづくり活動 (%)					(B)自主防衛組織の活動 (%)				
		よく 行 わ れ て い	と い き る ど き 行 わ れ	ほ い と な ん い ど 行 わ れ	ど う わ か れ て い ら な い か	無 回 答	よく 行 わ れ て い	と い き る ど き 行 わ れ	ほ い と な ん い ど 行 わ れ	ど う わ か れ て い ら な い か	無 回 答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,777)	28.4 (504)	31.4 (558)	7.5 (133)	31.7 (564)	1.0 (18)	7.0 (124)	19.6 (349)	11.7 (208)	59.6 (1,059)	2.1 (37)
性別											
男性	826	27.5	29.4	9.0	32.8	1.3	6.5	20.1	14.3	56.8	2.3
女性	951	29.1	33.1	6.2	30.8	0.7	7.4	19.2	9.5	62.0	1.9
年齢別											
20歳代	215	17.7	22.8	6.0	53.0	0.5	3.7	12.1	6.0	76.7	1.4
30歳代	292	26.7	32.2	3.8	36.6	0.7	5.1	19.5	4.8	69.2	1.4
40歳代	319	29.5	34.8	5.6	29.5	0.6	7.2	18.5	11.6	60.2	2.5
50歳代	357	27.5	31.4	9.2	30.5	1.4	7.8	18.2	13.2	58.3	2.5
60歳代	403	32.3	32.3	9.4	24.6	1.5	6.7	23.6	16.1	51.4	2.2
70歳以上	191	34.6	32.5	10.5	21.5	1.0	12.0	24.6	16.8	44.5	2.1
性別×年齢											
男性:20歳代	90	20.0	21.1	6.7	52.2	-	3.3	17.8	7.8	71.1	-
男性:30歳代	142	27.5	33.8	4.9	33.1	0.7	6.3	20.4	7.0	64.8	1.4
男性:40歳代	132	26.5	31.1	6.1	34.8	1.5	6.1	22.0	11.4	56.8	3.8
男性:50歳代	160	23.1	28.1	11.3	35.6	1.9	6.9	17.5	13.1	61.3	1.3
男性:60歳代	210	29.0	30.5	11.9	26.7	1.9	5.2	21.0	19.5	51.0	3.3
男性:70歳以上	92	40.2	28.3	10.9	19.6	1.1	13.0	21.7	26.1	35.9	3.3
女性:20歳代	125	16.0	24.0	5.6	53.6	0.8	4.0	8.0	4.8	80.8	2.4
女性:30歳代	150	26.0	30.7	2.7	40.0	0.7	4.0	18.7	2.7	73.3	1.3
女性:40歳代	187	31.6	37.4	5.3	25.7	-	8.0	16.0	11.8	62.6	1.6
女性:50歳代	197	31.0	34.0	7.6	26.4	1.0	8.6	18.8	13.2	55.8	3.6
女性:60歳代	193	35.8	34.2	6.7	22.3	1.0	8.3	26.4	12.4	51.8	1.0
女性:70歳以上	99	29.3	36.4	10.1	23.2	1.0	11.1	27.3	8.1	52.5	1.0
ブロック別											
東部A	132	37.1	28.0	3.8	30.3	0.8	9.1	22.0	5.3	61.4	2.3
東部B(田主丸)	125	32.0	36.0	9.6	21.6	0.8	8.0	24.0	11.2	53.6	3.2
北部A	161	32.9	31.1	5.0	30.4	0.6	8.1	24.2	8.1	57.1	2.5
北部B(北野)	112	17.9	33.9	13.4	32.1	2.7	5.4	14.3	20.5	57.1	2.7
中央東部	219	29.7	31.5	6.4	32.0	0.5	8.7	19.2	10.5	60.3	1.4
南東部	190	23.7	33.7	9.5	32.6	0.5	7.4	17.9	16.3	57.9	0.5
中央部	230	22.6	31.3	7.4	37.0	1.7	6.1	21.3	8.7	62.2	1.7
中央南部	289	30.4	26.6	6.9	34.9	1.0	6.6	15.6	10.7	64.7	2.4
南西部	154	32.5	27.3	7.8	32.5	-	5.8	24.0	9.7	59.7	0.6
西部A(城島)	70	34.3	32.9	5.7	27.1	-	5.7	15.7	15.7	57.1	5.7
西部B(三潁)	95	18.9	43.2	8.4	26.3	3.2	4.2	17.9	21.1	53.7	3.2

(7) 行政に特に力を入れてもらいたいこと

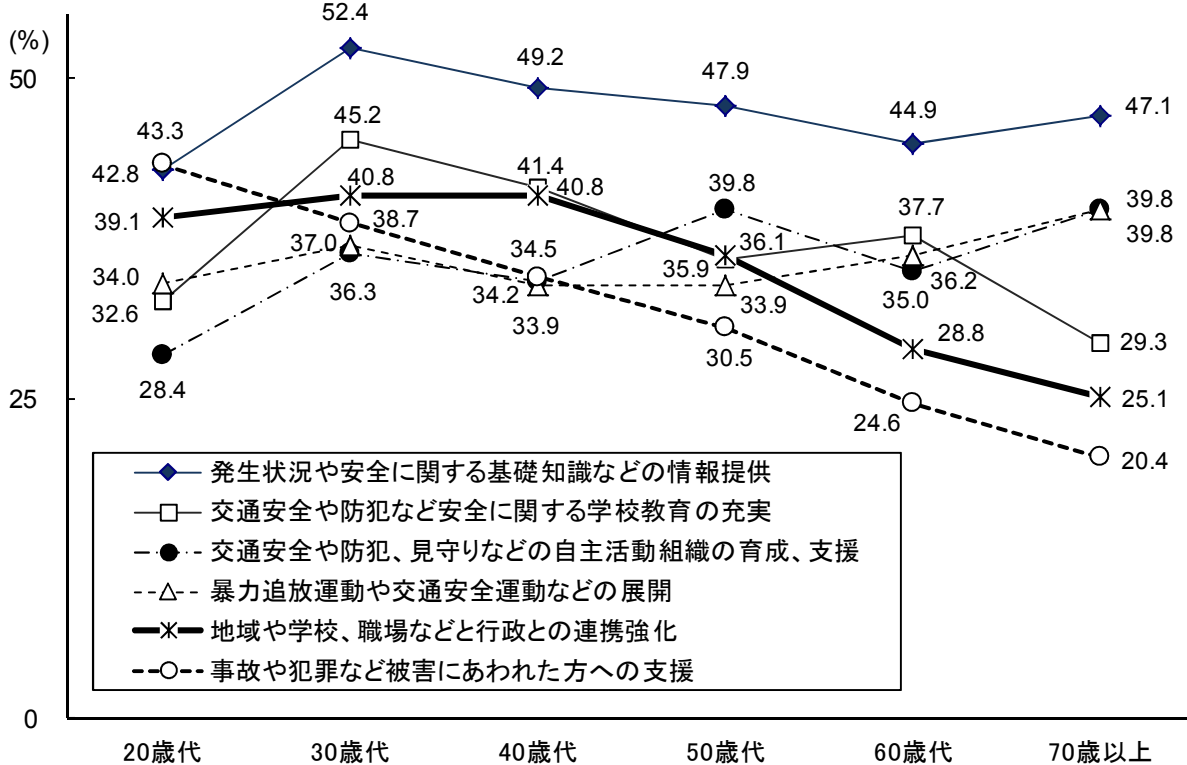
「発生状況や安全に関する基礎知識などの情報提供」を求める声が多い。

問 15 あなたは、けがや事故、犯罪などを防ぐため、行政（市、警察など）に特に力を入れてもらいたいと思うものは何ですか。（あてはまる番号にいくつでも○印）



■ 図2-9 年齢別にみた、行政に特に力を入れてもらいたいこと(上位6項目)

◇「情報提供」「学校教育の充実」の割合は30歳代で、「被害にあわれた方への支援」は20歳代で特に高い。



◆属性別特徴

【性別】「情報提供」「学校教育の充実」「自主活動組織の育成、支援」「地域や学校、職場などと行政との連携の強化」はいずれも女性の方が割合は高い。

【性別・年齢別】「学校教育の充実」「地域や学校、職場などと行政との連携の強化」の割合は女性30歳代で、「被害にあわれた方への支援」の割合は女性20歳代で特に高くなっている。

【ブロック別】「暴力追放運動や交通安全運動などの展開」の割合は南西部でやや高く、西部Bでやや低い。

		標本数 (票)	事故や犯罪などの防止のため、行政に力を入れてもらいたいこと (%)									
			提供する基礎知識などの情報	発生状況や安全に関する情報	講習会などの開催	充実に関する学校教育の安全	交通安全や防犯などの安	のりな、自主活動、組織	交通安全や防犯、見守	暴力追放運動や交通安全	専門的相談窓口の整備	あわぐれやた方への被害に
全体 (カッコ内は標本数)		100.0 (1,777)	47.5 (844)	10.1 (180)	37.7 (670)	35.7 (635)	35.6 (632)	25.3 (449)	31.7 (563)	35.2 (626)	3.4 (61)	2.7 (48)
性別	男性	826	44.1	10.4	33.5	32.7	38.0	23.8	30.5	31.1	3.9	3.5
	女性	951	50.5	9.9	41.3	38.4	33.4	26.5	32.7	38.8	3.0	2.0
年齢別	20歳代	215	42.8	5.6	32.6	28.4	34.0	25.1	43.3	39.1	4.2	0.9
	30歳代	292	52.4	8.2	45.2	36.3	37.0	28.1	38.7	40.8	5.5	2.7
	40歳代	319	49.2	10.0	41.4	34.2	33.9	29.2	34.5	40.8	3.1	4.7
	50歳代	357	47.9	10.4	35.9	39.8	33.9	28.0	30.5	36.1	3.6	1.1
	60歳代	403	44.9	11.2	37.7	35.0	36.2	20.3	24.6	28.8	2.2	2.7
	70歳以上	191	47.1	15.7	29.3	39.8	39.8	19.9	20.4	25.1	2.1	4.2
性別×年齢	男性:20歳代	90	42.2	5.6	33.3	27.8	35.6	18.9	40.0	35.6	4.4	1.1
	男性:30歳代	142	49.3	7.7	35.2	30.3	40.8	24.6	36.6	32.4	6.3	3.5
	男性:40歳代	132	43.9	6.8	38.6	31.8	34.1	32.6	34.1	39.4	2.3	6.1
	男性:50歳代	160	41.9	13.1	28.8	34.4	34.4	30.6	30.0	30.6	4.4	1.9
	男性:60歳代	210	41.0	11.0	35.7	32.4	41.4	18.6	25.2	26.2	3.3	3.8
	男性:70歳以上	92	48.9	18.5	27.2	40.2	40.2	15.2	19.6	25.0	2.2	4.3
	女性:20歳代	125	43.2	5.6	32.0	28.8	32.8	29.6	45.6	41.6	4.0	0.8
	女性:30歳代	150	55.3	8.7	54.7	42.0	33.3	31.3	40.7	48.7	4.7	2.0
	女性:40歳代	187	52.9	12.3	43.3	35.8	33.7	26.7	34.8	41.7	3.7	3.7
	女性:50歳代	197	52.8	8.1	41.6	44.2	33.5	25.9	31.0	40.6	3.0	0.5
	女性:60歳代	193	49.2	11.4	39.9	37.8	30.6	22.3	23.8	31.6	1.0	1.6
	女性:70歳以上	99	45.5	13.1	31.3	39.4	39.4	24.2	21.2	25.3	2.0	4.0
ブロック別	東部A	132	47.0	6.8	32.6	34.1	28.8	29.5	30.3	37.1	2.3	2.3
	東部B(田主丸)	125	53.6	12.0	38.4	36.0	31.2	23.2	30.4	38.4	3.2	3.2
	北部A	161	47.2	9.9	43.5	35.4	31.7	23.6	34.8	37.3	3.7	1.9
	北部B(北野)	112	51.8	13.4	38.4	38.4	32.1	24.1	27.7	37.5	3.6	2.7
	中央東部	219	44.7	9.1	35.2	37.4	35.2	24.7	31.1	32.9	3.7	5.0
	南東部	190	52.1	9.5	43.2	39.5	39.5	20.5	30.5	38.4	2.1	2.1
	中央部	230	42.6	7.0	31.7	36.5	40.9	25.2	33.5	30.4	3.5	3.9
	中央南部	289	45.7	8.7	39.4	34.6	38.4	28.0	36.3	36.3	5.5	1.4
	南西部	154	47.4	14.3	37.7	39.0	42.2	29.2	29.9	29.2	2.6	0.6
	西部A(城島)	70	52.9	17.1	40.0	32.9	32.9	20.0	21.4	38.6	1.4	1.4
	西部B(三瀨)	95	46.3	12.6	35.8	22.1	24.2	26.3	30.5	36.8	3.2	5.3

考察 —安全・安心のまちづくり（防災）—

●土砂災害への不安は東部山沿い地域で特に高い

地震、台風、大雨による水害、土砂災害の4つについて、その不安の程度を尋ねた【p.26】。「非常に不安を感じる」、「少し不安を感じる」を合計した『不安感』でみると、台風が84.3%と一番高く、地震が79.7%で続く。ブロック別でみてみると、ともに全体として高い不安感を示す台風と地震とでは特徴の違いがみられる。台風は、最も高い北部B北野から最も低い中央東部まで20ポイント以上の開きがみられるのに対し、地震は、北部B北野から西部B三潞まで7ポイントの差にとどまる。土砂災害への不安は、全体では23.4%と低いが、東部B田主丸(48.8%)から西部B三潞(11.6%)まで、地域差が大きい。東部、南東部等のブロックに属する耳納連山に近い校区(東部山沿い地域)を再集計した結果をみると、土砂災害は46.5%と全体の2倍という高さである。

■土砂災害への不安(東部山沿い地域)

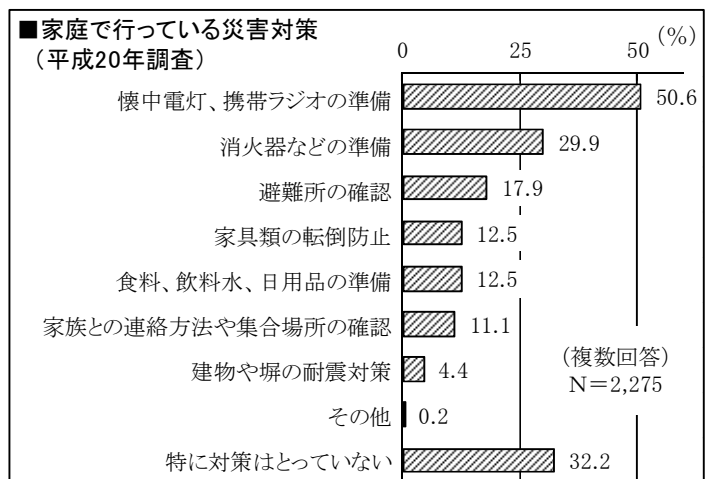
	標本数 (票)	土砂災害にあうかもしれない不安(%)				
		を非 感常 じに る不 安	感少 じし る不 安を	をあ 感ま じり ない安	感全 じく ない安 を	無 回 答
全 体	1,777	6.1	17.3	44.3	30.2	2.1
東部山沿い	260	13.8	32.7	35.4	16.5	1.5

※山川、山本、草野、竹野、水縄、御井、高良内、青峰校区の合計

●若い世代は日頃の災害対策をしていない割合が高い

家庭において、地震など災害時における水や食料の備蓄状況はどうであろうか【p.28】。まず、水については、「何もしていない」が59.5%である。備蓄は「3日以上」(11.7%)が重要な要件であるが、性・年齢別にみると、70歳以上で高く、男性40歳代、女性20歳代で低くなっている。同じ20歳代でも男性(10.0%)は全体とあまりかわらない。食料については、「何もしていない」が50.4%である。「3日以上」(19.7%)の備蓄は、性・年齢別にみると男性70歳以上が最も高い。最も低いのは女性20歳代(9.6%)で、やはり男性20歳代(17.8%)と対照的である。20歳代の男女の備蓄意識の差異が大きいことは、今後の啓発活動で留意したいところである。

家庭における地震など災害への対策をみてみよう【p.29】。「地震・水害などに対応した保険の加入」29.6%が高く、「家族との連絡方法を決めている」20.0%が続いている。「特にしていない」は46.2%と、半数近くに達する。選択肢は異なるが、平成20年の調査と比べると、「家具や冷蔵庫などの転倒防止」はこの3年間にあまり進捗せず、「家族との連絡方法を決めている」は9ポイント増加という改善をみている。ただし問題は、「特にしていない」が14ポイントも増加したことである。



高齢層についてみると、男性70歳以上は「保険の加入」「家族との連絡方法を決めている」「非常持ち出し袋の用意」「転倒防止」で割合が高い。なお、「特にしていない」と答えた割合は、男性では30歳代(55.6%)、40歳代(54.5%)、女性では20歳代(55.2%)で高くなっている。

行政が特に力を入れていくべきことでは【p.33】、「災害時における迅速な被害状況や避難情報の提供」51.7%、「災害情報などの情報伝達手段の充実」49.9%、「安全な避難経路や避難所の整備」49.4%、「食料、日用品の備蓄」47.4%の4項目が40%を超える高い項目である。一方、「学校での防災教育や防災訓練の充実」11.7%、「地域における防災訓練や講習会の実施」11.4%、「自主防災組織の育成」9.8%などはあまり高くない。

学校や地域が関わる下位の3項目について性別・年齢別でみると【p.34】、「学校での防災教育や防災訓練の充実」は男性40歳代で、「地域における防災訓練や講習会の実施」は男性の60歳代、70歳以上で、「自主防災組織の育成」は男性70歳以上で、それぞれ高くなっている。こうした結果からは、男性70歳以上は、備蓄や災害対策、避難情報入手などの確な対応をしており、これだけの知恵と経験を地域のなかでどう生かすかが、自主防災活動活性化のカギになるだろう。むしろ、災害時には、日頃の災害対策も避難所・避難経路の認識もあまりない若い世代の方が対処困難な対象になる可能性が大きい。また、先にみたように、大雨による水害、土砂災害への不安感については地域差が大きい。昭和28年久留米大水害、平成3年台風17・19号災害など、過去の災害体験を豊富にもつ高齢者の学校などにおける防災教育での活用もあわせて考える必要があるだろう。

今後、超高齢社会を迎えるなか、自主防災組織に期待される役割は大きい。平成7年の阪神・淡路大震災時には、生き埋めや建物などに閉じ込められた人のうち、約77%は家族や近隣住民が救出したという調査結果もあり、住民相互が協力しながら組織的に自主防災活動に取り組むことで被害を最小限に抑えることができる。そのためには、地域における若い世代と中高年世代との連携・協力体制をどのように構築していくかが重要な課題である。地域における自主防災組織の活動について【p.46】、市民全体の59.6%が「行われているかどうか知らない」と答えており、最も低い比率の男性70歳以上でも35.9%、それ以外のすべての性・年齢別階層で50%を超えている。なかでも、女性の20歳代(80.8%)、30歳代(73.3%)、男性20歳代(71.1%)で著しく高い。

こうした若い世代については、備蓄状況でみたように、防災に関する日頃の備えなど、まさに「自分の命を守る」ための活動という危機意識に訴える広報・研修を積み重ねることしかないだろう。これは、「地域を守る」という自主防災組織のスローガンが届きにくいという、地域社会のネットワークから漏れがちな若い世代の特徴によるものだろう。しかし、20歳代の男性は、食料・水の備蓄についてはある程度の対策を立てている。こうした日頃の態度の定着とその意義の理解を深める働き掛けがはじめの一步である。久留米市は、平成18年から自主防災組織の結成に取り組み、校区ごとに自主防災組織づくりを進めており、市内46校区中28校区(平成24年3月末現在)で設立されている。災害時には住民相互の助け合いが大切であり、今後は地域の幅広い世代に参加を促していくことが課題と言えるだろう。

—安全・安心のまちづくり（セーフコミュニティ）—

●「けがや事故、犯罪」に対する不安感は、「大雨による水害」など自然災害と比べても相対的に大きい

WHO（世界保健機関）関連団体が提唱する「セーフコミュニティ」の認知度を尋ねた【p.35】。「セーフコミュニティ」とは、「けがや事故などは、偶然の結果ではなく、原因を究明することで予防することができる」という考え方のもと、行政や地域、事業者などとの連携・協力により、すべての人が安全に安心して暮らすことのできるまちづくりを進めるものである。その結果は、「聞いたことがある」という認知状況も含めて「知っている」という『認知派』は48.1%という高い数値である。性別・年齢別で見ると、男性では50歳代以上、女性では30歳代と60歳代で高くなっている。

けがや事故、犯罪などに対する不安を尋ねた結果は【p.36】、「非常に不安を感じる」12.9%、「少し不安を感じる」55.4%と、『不安派』は合計68.3%である。防災の項で検討した、地震、台風、大雨による水害、土砂災害の4つについての不安感と比較すると、「けがや事故、犯罪」は「地震」と「大雨による水害」のちょうど中間に位置することになる。これは、かなり大きな不安感といえる。『不安派』は、男性64.5%、女性71.7%と女性の方が7ポイント高い。性別・年齢別で見ると、男性では30～40歳代、女性では20～40歳代で高い。特に、女性30歳代（80.7%）は全体より12ポイントも高く、「不安を感じない」は19.3%と最も低い。これに対し、『不安派』が最も低いのが、男性の20歳代（55.5%）、60歳代（58.1%）である。

「安全・安心のまちづくり」に関しては、性・年齢別階層ごとに多様な課題がみられることが特徴である。結果の分析にあたっては、各世代ごとに細かくみる必要もあるが、ここでは不安感が最も強い「女性30歳代」と、対照的にあまり不安を感じていない「男性20歳代」という2つの階層に注目して考察を進めたい。「女性30歳代」の「不安感」を取り除き「安心感」を高める取り組みは、最終的には性別、年齢別に関係なくすべての市民にとって最善の「安全・安心のまちづくり」推進にもつながるであろう。

■本調査における【女性30歳代】(N=150)と【男性20歳代】(N=90)の主な属性
◎職業…【女性30歳代】「給与所得者(常勤)」34.0%、「家事に専念している主婦」25.3%、「パート・アルバイト」24.0% 【男性20歳代】「給与所得者(常勤)」51.1%
◎家族構成で、中学生以下の子どもと同居している割合(全体:25.9%)…
【女性30歳代】63.3% 【男性20歳代】18.9%
◎近所づきあい…「会えば世間話をする」以上のつきあい(全体:37.8%)→
【女性30歳代】33.3% 【男性20歳代】6.7%、
「会えばあいさつする」(全体:56.8%)→【女性30歳代】61.3%【男性20歳代】81.1%、
「つきあいはない」(全体:5.1%)→【女性30歳代】4.7% 【男性20歳代】12.2%
◎この1～2年の市民活動の参加頻度…
『活動派(月1回以上)』(全体:22.0%)→【女性30歳代】19.3% 【男性20歳代】4.4%、
『年に1～数回程度』(全体:38.7%)→【女性30歳代】22.0%【男性20歳代】20.0%、
「参加していない」(全体:38.8%)→【女性30歳代】58.0% 【男性20歳代】75.6%

●「自転車や自動車による交通事故」への不安が著しく高い

ふだんの生活のなかで不安を感じるものを尋ねた結果は【p.38】、「自転車や自動車による交通事故」が79.3%となっており著しく高く、全ての性別・年齢別でトップとなっている。これに「空き巣や自転車の盗難、ひったくりなどの窃盗犯罪」62.1%、「暴力行為や傷害、強盗などの凶悪犯罪」41.1%が続いている。「家庭内でのけがや事故」については、70歳以上で第2位

となっており、男性で 27 ポイント、女性で 31 ポイントも全体 (28.4%) より高い。

ここで注目したいのは「自殺やうつ病の増加傾向」の相対的な高さである。社会問題化している「自殺」や「うつ病」がふだんの生活のなかの不安として受け止められている現実が浮かび上がっている。性別・年齢別では、女性 20 歳代、男性 30 歳代で高い。

なお、女性 30 歳代は上位 3 項目も高いが、「性的犯罪」「学校や登下校

時のけがや事故」で全体より 10 ポイント以上高くなっている。これに対し、男性 20 歳代は「職場でのけがや事故 (労働災害)」が全体 (19.1%) より 14 ポイントも高く、「自殺やうつ病などの増加傾向」が全体とほぼ同率であることが注目される。「窃盗犯罪」が 45.6%と著しく低いことも特徴である。

■ふだん生活する中で不安に感じる事【回答はいくつでも】(性・年齢別上位5項目)

	1位	2位	3位	4位	5位
全体	交通事故 (79.3%)	窃盗犯罪(62.1%)	凶悪犯罪(41.1%)	性的犯罪(29.1%)	家庭内でのけがや事故(28.4%)
男性 20歳代	交通事故 (68.9%)	窃盗犯罪(45.6%)	凶悪犯罪(37.8%)	職場でのけがや事故(33.3%)	自殺やうつ病の増加傾向(27.8%)
男性 30歳代	交通事故 (72.5%)	窃盗犯罪(56.3%)	凶悪犯罪(50.7%)	自殺やうつ病の増加傾向(33.8%)	学校や登下校時(31.7%)
男性 40歳代	交通事故 (83.3%)	窃盗犯罪(64.4%)	凶悪犯罪(48.5%)	学校や登下校時(40.9%)	性的犯罪(34.8%)
男性 50歳代	交通事故 (80.0%)	窃盗犯罪(61.3%)	凶悪犯罪(41.3%)	職場／家庭内でのけがや事故(31.3%)	
男性 60歳代	交通事故 (74.8%)	窃盗犯罪(60.0%)	凶悪犯罪(38.1%)	家庭内でのけがや事故(33.3%)	自殺やうつ病の増加傾向(28.6%)
男性70歳以上	交通事故 (85.9%)	家庭内でのけがや事故(55.4%)	窃盗犯罪(53.3%)	凶悪犯罪(42.4%)	余暇活動や運動中(16.3%)
女性 20歳代	交通事故 (80.8%)	窃盗犯罪(68.8%)	性的犯罪(54.4%)	凶悪犯罪(47.2%)	自殺やうつ病の増加傾向(34.4%)
女性 30歳代	交通事故 (86.0%)	窃盗犯罪(68.0%)	凶悪犯罪(44.0%)	性的犯罪(42.7%)	学校や登下校時(42.0%)
女性 40歳代	交通事故 (84.0%)	窃盗犯罪(68.4%)	学校や登下校時(48.7%)	性的犯罪(45.5%)	凶悪犯罪(43.3%)
女性 50歳代	交通事故 (79.7%)	窃盗犯罪(71.6%)	凶悪犯罪(39.1%)	性的犯罪(31.5%)	家庭内でのけがや事故(31.0%)
女性 60歳代	交通事故 (76.7%)	窃盗犯罪(58.5%)	家庭内でのけがや事故(41.5%)	凶悪犯罪(29.0%)	自殺やうつ病の増加傾向(25.4%)
女性70歳以上	交通事故 (79.8%)	家庭内でのけがや事故(59.6%)	窃盗犯罪(55.6%)	凶悪犯罪(36.4%)	自殺やうつ病の増加傾向(24.2%)

● 「けがや事故、犯罪」に対する取り組み状況は、性別・年代別で異なっている

けがや事故、犯罪などに対して、不安を取り除くため、市民はどのような行動をしているのであろうか。ふだんから心がけていることを尋ねた結果は【p.40】、「日ごろから家庭の中の安全 (階段や風呂場での転倒防止など) に気をつけている」35.8%、「日ごろから地域内の危険箇所や不安箇所に気をつけている」31.9%、「子どもや家族と事故や犯罪にあわないよう心構えを話し合う」29.7%、「交通事故にあわないよう明るい服装で出かけたり、自転車の正しい乗り方に気をつけている」29.0%の 4 項目が高くなっている。「特に何もしていない」は 22.1%である。

性別・年齢別でみると、男性 70 歳以上が多くの項目で高い数値を示していることが注目される。「自分の安全は自分で守る」というすがたが浮き彫りになっている。興味深いのは、「自殺やうつ病の増加傾向」の不安が女性 20 歳代で高いことを指摘しておいたが、これに対応して「心身の不調や悩み事があれば話しやすい人や相談窓口に相談している」が 19.2%と、女性 50 歳代 (22.3%) に次いで高い。

なお、女性 30 歳代は「子どもや家族と心構えを話し合う」40.7%が全体より 11 ポイントも高い。他は「相談している」が全体と比べ 5 ポイント高いぐらいで、それ以外では全体並みか、それ以下である。不安感がきわめて高いものの、それを取り除くための特別な対応はみられない。これに対し、男性 20 歳代は「特に何もしていない」が 42.2%と著しく高いのが一番の特徴である。また、全体的に比率が低く表れているなかでは、「地域内の危険箇所や不安箇所に気

をつけている」が32.2%と全体とほぼ同率である。

●「防災訓練」「交通安全や応急処置、防犯学習会」は地域よりも学校・職場で特に要望が高い

地域で必要な取り組みを尋ねた結果は【p.42】、「一人ひとりが注意して事故や犯罪にあわないように気をつける」64.1%が高く、「登下校時の児童や、一人暮らしなどの高齢者の見守り活動を行う」50.4%、「近隣住民とのあいさつなど、近所つきあいを良くする」50.3%が並んでいる。住民自らが活動するという項目に関しては、「地域内の危険箇所や不安箇所の点検を行い、安全・安心マップを作成する」42.4%は高いものの、「地域住民による防犯パトロールを行う」は21.6%、「地震や火災、水害など災害が起きた時のために防災訓練を行う」19.4%はあまり高くない。なお、女性30歳代は「見守り活動を行う」が70.0%と著しく高いほか、「防犯パトロールを行う」32.0%、「防災訓練を行う」31.3%など、市民自らが活動する項目も高い。これに対し、男性20歳代は「一人ひとりが気をつける」(71.1%)が全体より7ポイント高く、「近所つきあいを良くする」(31.1%)が全体より19ポイントも低いことがこの階層の特徴である。

学校や職場で必要な取り組みを尋ねた結果は【p.44】、「一人ひとりが注意して事故や犯罪にあわないように気をつける」56.0%が高く、「施設や設備の安全点検や危険物の除去などを徹底する」53.5%が並び、「ヒヤリとした事例や気付いた危険箇所などの情報を共有する」49.2%が続いている。すべての選択肢が20%を超える高い比率である。特に、「地震や火災、水害など災害が起きた時のために防災訓練を行う」は地域での取り組みを尋ねた選択肢と同一であるが、地域の19.4%に対し、学校・職場では29.0%と10ポイントも高い。また、「交通安全や応急処置、防犯などに関する学習会を開く」も同様の選択肢が地域の7.9%に対し、学校・職場では21.3%と13ポイントも高くなっている。

この数値の押し上げに、女性30歳代が大きく関わっている。「防災訓練を行う」は48.0%（「地域」では31.3%）、「交通安全や応急処置、防犯などに関する学習会を開く」は33.3%（「地域」では16.0%）、また「いじめの発生防止や早期発見のため学習会を開く」も40.0%ときわめて高く、すべての選択肢で30%を超えている。これに対し、男性20歳代は「一人ひとりが気をつける」(63.3%)が7ポイント、「交通安全や応急処置、防犯などに関する学習会を開く」(24.4%)が3ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

●「地域や学校、職場などと行政との連携強化」を望む声は女性30歳代で最も高い

行政に特に力を入れてほしいことを尋ねた結果では【p.48】、「発生状況や安全に関する基礎知識などの情報提供」が47.5%と最も高く、「交通安全や防犯など安全に関する学校教育の充実」37.7%、「交通安全や防犯、見守りなどの自主活動組織の育成、支援」35.7%、「暴力追放運動や交通安全運動などの展開」35.6%、「地域や学校、職場などと行政との連携強化」35.2%の4項目が同程度で並んでおり、市民の「安全・安心」に関する要望はどれをとっても高い。

なお、女性30歳代は「情報提供」55.3%がトップではあるが、第2位の「安全に関する学校教育の充実」54.7%、第3位の「地域や学校、職場などと行政との連携強化」48.7%がそれぞれ全体より高くなっていることが特徴である。これに対し、男性20歳代は「事故や犯罪など被害にあわれた方への支援」が40.0%と全体より8ポイント高く、「情報提供」(42.2%)に次ぐ第2位の高い項目になっていることが特徴である。

【久留米市におけるセーフコミュニティの取り組みについて】

◎久留米市では、各種統計データや市民意識調査結果、セーフコミュニティの考え方などを踏まえ、セーフコミュニティにおける「重点取り組み分野」「重点取り組み項目」を次のように設定しており、概ね各分野ごとに対策委員会を設置し、具体的な活動の検討を行っていきます。

重点取り組み分野	重点取り組み項目	
1. 交通安全	○高齢者の交通事故防止	○自転車事故の防止
2. 子どもの安全	○児童虐待の防止	○学校の安全
3. 高齢者の安全	○転倒予防	○高齢者虐待の防止
4. 犯罪・暴力の予防	○犯罪の防止・防犯力の向上	○DV防止・早期発見
5. 自殺予防	○自殺・うつ病の予防	
6. 防災	○地域防災力の向上	